

年 報

平 成 2 5 年 度

徳 島 県 立 図 書 館

ま え が き

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から2年以上が経過しましたが、被災された多くの地域の多くの人々が望む復興には、まだまだ長い道のりの途中です。

南海トラフ巨大地震の発生が懸念されるエリアに住む私たちにも、各方面での危機管理の必要性・重要性が改めて認識されています。

平成24年12月19日に告示された「図書館の設置および運営上の望ましい基準」の中でも、新たに危機管理に関する内容が盛り込まれており、当館でも、危機管理部局との連携による防災・減災のパネル展示などの企画や、所蔵している南海地震などの資料を活用していただくことにより、県民の防災・減災意識への一助になればと考えております。

現在、当館では平成24年3月に策定した「徳島県立図書館サービス向上目標（第2期）～県立図書館サービスの次の展開に向けて～」の4つの目標、県内全域サービス、専門性を発揮したサービス、地域資料の拠点、県民の課題解決の支援に沿って活動を進めております。

これまで、県内全域サービスとして、「とくしまネットワーク図書館システム」の整備充実、専門性を発揮したサービスとして、パスファインダーの作成やレファレンス事例の登録、地域資料の拠点として、郷土資料のデジタル化とその閲覧システムの稼働、県民の課題解決として、子育て支援・しごと応援コーナーの設置などを行ってきました。また、昨年度は、読書推進のために、各分野で活躍されている徳島ゆかりの方々に心に残った本を紹介していただく「とくしま 私のこの一冊」や、児童書の「子どもの読書と子育て応援」図書雑誌寄贈事業なども行いました。

今年度もこれらの活動を引き続き行いつつ、さらなるサービスの向上を目指して参りたいと考えておりますので、本冊子をご一読いただきまして、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月

徳島県立図書館長 吉成 学

目 次

I	運営の基本方針 -----	1
	平成25年度重点事業 -----	1
II	平成25年度事業計画 -----	2
	平成25年度図書館費予算（当初）の状況 -----	7
	徳島県立図書館資料収集方針 -----	8
	徳島県立図書館資料収集・選定運用基準 -----	10
III	平成24年度事業報告 -----	14
	1 情報支援課関係 -----	14
	2 調査相談課関係 -----	15
	3 資料課関係 -----	17
	4 図書館システム関係業務 -----	19
	5 他機関との連携事業ほか -----	19
	6 諸統計 -----	24
IV	管理 -----	29
	1 組織機構・職員 -----	29
	2 施設・設備 -----	30
	3 沿革 -----	31
	4 歴代館長 -----	32
V	平成24年度行事記録 -----	33
	データで見る徳島県立図書館の現状 -----	39
	徳島県内市町村立図書館一覧 -----	40
	徳島県立図書館案内図 -----	41
	開館時間・休館日 -----	41
	付録：「徳島県立図書館サービス向上目標（第2期） ～県立図書館サービスの次の展開に向けて～」 -----	1～4

I 運営の基本方針

- (1) 図書館法とユネスコ公共図書館宣言の理念に基づいて、図書・記録その他の図書館資料を積極的に収集・整理・保存して、地域社会の人々に対する利用に努める。
また、行政資料を含む郷土資料を積極的に収集保存し、県内における資料センターとしての役割を果たす。
- (2) 市町村立図書館への援助・協力を行い、市町村立図書館と協力してすべての県民への図書館サービスの充実を目指す。
また、図書館未設置町に対して、図書館の設置を促進し、県内図書館網を充実する。
- (3) 県民の読書活動及び図書館利用を促進し、文化の向上に資する。
また、すべての子どもの自主的な読書活動を推進するために、関係機関や団体と連携し、資料の充実と子どもの読書環境の向上に努める。
- (4) 公共図書館、大学図書館、学校図書館、試験・研究機関との連携を行い、県民へ資料、情報を提供し、サービスに努める。
- (5) 県民の学習、調査、研究、レクリエーションセンター、生涯学習の場として、県下の図書館網の中核施設として位置づける。
- (6) 阿波学会等地域の学術研究団体と連携し、地域に関する科学的調査に協力し、学問と文化の振興に寄与する。

平成 25 年度重点事業

徳島県立図書館サービスの充実

徳島県の図書館ネットワークの中核として、広域的かつ総合的な視点で、県民の様々なニーズや課題に的確に対応し、県全体の図書館サービスの向上を図る。

- ア 「とくしまネットワーク図書館」の整備充実、市町村立図書館支援、子どもの読書支援、大学図書館、県外図書館との連携拠点として県内全域サービスをすすめる。
- イ 県下の中核図書館としての機能・役割を発揮するための図書館資料の充実整備に努め、将来の利用を見据えた蔵書の収集・整備をはかる。
- ウ 未来を切り拓く人材育成をテーマに、豊かな感性の醸成や国際的な視野の涵養に役立つ図書、キャリアの習得やスキルアップにつながる図書を収集し、若い世代の利用を促進する。
- エ 徳島に関する幅広い資料の収集・充実を図り、地域資料のデジタル化、郷土レファレンスのデータベースや可能な資料のWeb上での公開などに努める。また、郷土資料を後年まで伝えるため、資料保存センターとしての機能を充実させる。
- オ 子育て支援、行政支援、仕事応援、健康情報、防災・減災情報等、県民のさまざまなニーズや課題解決の支援に取り組む。また、ホームページやテーマ展示等により情報を発信する。

Ⅱ 平成25年度事業計画

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
情報 報 支 援 課 （ 情 報 支 援 担 当 ）	徳島県立図書館協議会	館長の諮問機関として、県立図書館運営の基本的事項を審議する。	協議会委員	年 1 回	諮問事項の審議等。
	徳島県公共図書館協議会	県内公共図書館の連絡協調を図る。	県内公共図書館	理事会 5月中旬、 研修会 年3～4回	活動状況の意見交換や相互協力について検討する。職員の研修会、図書館大会を開催する。
	徳島県読書振興協議会	県内読書推進機関の連携協力を図る。	市町村読書振興協議会 他	年 間	読書振興大会を開催するための援助等を行う。
	協力車の運行	県内図書館間協力のため、協力車により資料の貸出、県内図書館間の相互貸借、情報交換等を行う。	市町村立図書館・図書館未設置町教育委員会	毎 週	市町村立図書館・図書館未設置町教育委員会からの貸出希望に応じる。
	相談業務	図書館や類似施設等に相談・助言を行う	県内公共図書館等	年 間	図書館業務全般の情報交換等も行う。
	団体貸出	職場の団体やグループ・学校・施設などに対して、資料を一括して貸し出す。	職場・団体・学校等	年 間	一括貸し出しをする。来館して直接選択してもらう。
	読書会文庫	市町村立図書館、読書グループに、同じ資料を1セット5～10冊編成で貸し出す。	図書館、読書グループ	年 間	貸出期間2ヶ月。図書館を通しての貸し出しも行う。
	町立図書館の設置促進	すべての町に図書館が設置されるよう推進する。	図書館未設置町	年 間	自治体の理事者・教育委員会に対して、その重要性を呼びかける。
	学校図書館への協力貸出	学校図書館からの貸出希望に応じて資料の貸出を行う。学校における図書館活動の活性化に協力する。	県内高等学校及び特別支援学校	年 間	希望校が、最寄りの市町村図書館で資料を受け取れるよう、県立図書館から協力車で運ぶ。
	総合学術調査	阿波学会の協力を得て各々の専門家が地域を定めて科学調査及び研究を行い、文化の推進と地域開発に寄与する。	阿南市	8月結団式・調査	17学会約100名の専門家によって、それぞれの分野で集中的に調査を行う。

区 分	事 業 名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
調 査 相 談 課 (調 査 担 当)	逐次刊行物の選択・収集・整理	最新の知識情報が得られる定期・不定期刊行物（新聞・雑誌、年鑑、研究報告、議事録、会報、学術誌、政府刊行物等）を選択・収集し、整理する。	一 般	年 間	逐次刊行物は継続的に収集し、保存のため年次別に整備する。
	寄贈逐次刊行物の整理	官公庁、団体等から寄贈された逐次刊行物を整理する。	一 般	年 間	雑誌類は整理保存する。
	逐次刊行物の閲覧と貸出	購入・寄贈雑誌の閲覧と貸し出しや一部CD-ROMによる閲覧により、利用者の要求に応じる。	一 般	年 間	一部を除き貸し出しを行う。
	複写サービス	著作権法にのっとり、複写サービスの適正な運用につとめる。	一 般	年 間	館内利用者及び県外からの文書による申し込みに応じる。
	雑誌スポンサー制度	雑誌スポンサーを募集し、ブラウジングコーナーの充実をはかる。	企業・商店・団体	随時受付	スポンサーに雑誌の購入費を負担してもらう。最新号カバー等にスポンサー名を表示する。
	参考資料の収集と整理	各分野の調査・相談に必要な参考資料を収集・整理する。	一 般 図 書 館	年 間	出版情報により、情報を集め、資料を収集する。
	特別集書の収集と貸出	「橋と川」に関する資料を収集し貸出する。	一 般 図 書 館	年 間	「橋と川」に関する資料を収集する。
	データベースの提供	DVD-ROM版、Web版のデータベースを専用端末により提供する。	一 般	年 間	契約上可能なものはプリントアウトに応じる。
	調 査 相 談 活動	一般利用者、市町村立図書館等から寄せられる調査研究の質問に対して必要な資料や情報を提供する。	一 般 図 書 館 県 機 関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによるレファレンスに対し回答する。
	総合目録ネットワークと相互貸借	国会図書館、全国の公共図書館とのネットワークに参加する。相互貸借により利用者の資料要求に応える。	一 般 図 書 館	年 間	総合目録ネットワークシステムへ蔵書目録データを提供する。県内図書館向け研修会を開催する。県外図書館から資料を借り受け、利用者へ提供する。

区 分	事 業 名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
（ 調 査 担 当 ）	レファレンスツールの作成	レファレンスの事例をデータベース化し、ツールとして役立てる。	一 般 図 書 館	年 間	レファレンスの回答記録を整理し、データベース化する。
	検索コーナーの管理・運営	利用者の端末使用を援助する。	一 般	年 間	利用者用検索端末・DVD-ROM閲覧端末等の使用を援助する。
	インターネット端末の一般開放	調査研究や知的創造などに欠かせない電子文献の収集を援助・促進する。	一 般	年 間	インターネットが閲覧できる端末を設置し、Web情報の利用に供する。
調 査 相 談 課 （ 郷 土 担 当 ）	郷土資料の充実と整理	郷土に関する資料要求に応えるため、郷土に関する資料の収集・整理に努める。	一 般	年 間	特色のあるコレクションとして一般蔵書と区別して保存し、利用に供する。
	地方行政資料の収集と整理	国、県、市町村への働きかけを強めて、官公庁出版物と地方行政資料の収集整理に努める。Web版資料についても収集に努める。	一 般	年 間	県、市町村及び国の出先機関等に図書館法第9条による資料の提供を呼びかける。Web版資料の電磁的記録と利用に関する許諾を求める。
	資料の複写	マイクロフィルム・デジタル化された新聞、郷土資料等の複写サービスを行う。	一 般	年 間	デジタルライブラリ画像閲覧システムやマイクロリーダープリンターによる複写を行う。
	資料のマイクロフィルム化	調査研究資料として増大する新聞情報を、マイクロフィルム化して整理保存する。	一 般	年 間	現在、収集保存している全国紙地方面を引き続きマイクロフィルム化し、利用に供する。
	図書の展示	テーマにそった郷土資料の展示を行い、関心を高め利用を促進する。	一 般	年 間	郷土資料の展示を行い、展示資料リストを作成する。
	郷土用レファレンスツールの作成	郷土の事項や人物に関するレファレンス事例データベースを作成し、検索ツールとして役立てる。	一 般 図 書 館	年 間	レファレンス回答記録から選定したものなどをデータ入力する。

区 分	事 業 名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
資 料 課 (資 料 担 当)	資料の収集 と整理	一般貸出資料の選択・収集 ・整理及び購入雑誌・参考 図書の整理を図る。	一 般	年 間	出版情報により選書し、 発注、受け入れを行う。
	資料の配架 と保存	開架図書の利用を促進し、 書庫内資料の出納を容易に する。	一 般	年 間	オープンスペースと書 庫の資料を適正に配架 する。
	予約（リク エスト）制 度	利用者の希望する資料の予 約を受け提供する。	一 般	年 間	来館・電話・インター ネットで予約を受け処 理する。
	視聴覚資料 の収集と整 理	C D の収集・整理を行う。	一 般	年 間	C D ブックを収集し、 貸し出しする。（音楽C Dは寄贈のみ収集）
	障害者及び 高齢者用資 料の収集	障害者や高齢者のための資 料を収集する。	障 害 者 高 齢 者	年 間	大活字本やD A I S Y を収集・整理し、貸し 出しを行う。また、携 帯型拡大読書器、活字 自動読み上げ機を設置 している。
	対 面 朗 読	目の不自由な方に、資料を 朗読する。	目 の 不 自 由 な 方 等	年 間	来館のうえ、対面朗読 協力者が朗読する。
	郵 送 貸 出	障害者の方に、郵送による 貸し出しを行う。	障 害 者	年 間	電話、文書等で申し込み を受け付け、図書・カ セット・D A I S Y 等 を郵送する。
	督 促	期限を過ぎても返却されな い利用者に対して、督促通 知を行い、資料の効率的運 用を図る。	一 般	年 間	郵便と電話により、通 知を行う。
	ベストセラ ー寄贈事業	予約者が多いベストセラー 本の寄贈をお願いし、予約 待ち期間の短縮を図る。	一 般	年 間	図書館ホームページや 館内にリストを掲示し、 寄贈していただく。
	貸出、利用 者登録	資料の貸し出しと貸出利用 者を登録する。	一 般	年 間	貸し出しは、県内在住 者、在勤者、在学者に 対して10冊22日間。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
資料 課 (児 童 担 当)	資料の収集と整理	児童書、子どもの読書に関する研究書、紙芝居、お話CDなどを收集整理する。	0歳～高校生、一般	年 間	出版情報により選書し、発注、受け入れ、保存を行う
	予約（リクエスト）制度	利用者の希望する資料の予約を受け提供する。	0歳～高校生、一般	年 間	来館、電話、インターネットで予約を受け処理する。
	調査相談活動	子ども、保護者、子どもの読書関係者（機関）、市町村立図書館等からの質問に対して必要な資料や情報を提供する。	0歳～高校生、一般、図書館、関係機関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによる質問に応じる。
	学校図書館との連携推進	学校図書館担当職員の相談・要望に応えることにより、学校図書館との連携を進める。	特別支援学校図書館 他	年 間	要望のある県立学校図書館を訪問して説明や相談に応じる。
	子どもの読書に関する研修会	公共図書館職員、読み聞かせボランティア、子どもの読書活動推進関係者などが、子どもの読書のすすめ方について研修を行う機会を提供する。	子どもの読書活動推進関係者、図書館	年 間	研修会を開催する。
	おはなし会	絵本の読み聞かせなどによって、乳幼児・児童に読書の楽しさを味わってもらう。	乳 幼 児 児 童	月 3 回	絵本の読み聞かせ、紙芝居、ストーリーテリングなどを行う。（月2回はボランティアによる）
	こどもの本コーナーだよりの発行	児童書、子どもの読書関連行事等を紹介すると共に、こどもの本コーナーの広報をする。	0歳～中学生、一般	月 1 回	ホームページ「こどもの本コーナー」にも掲載する。
その他	図書の展示	テーマにそった児童書の展示を行い、関心を高め、子どもの読書活動を推進する。	0歳～中学生、一般	年 間	それぞれの時期にテーマにそった図書を集めて展示する。
	コンピュータの管理運営	コンピュータ委員会を中心に、コンピュータに伴う各種作業を行う。		年 間	マーク登録、蔵書点検、研修、ホームページの運用等の実施。

平成 2 5 年度図書館費予算（当初）の状況

（単位：千円）

事 項 名	平成 2 5 年度 予算額(当初)	備 考
図書館管理運営費	41, 245	館内維持管理諸経費 日本図書館協会等負担金 貸出カウンター運営管理等業務委託費
図書館資料充実費	35, 305	一般図書購入費 児童図書購入費 新聞・雑誌等購入費 視聴覚機材・資料購入費 雑誌等製本費
館内奉仕運営費	1, 034	館内サービス提供諸経費
コンピュータ管理運営費	4, 330	コンピュータ関係経費 (第 5 期図書館システム修繕関連経費を除く。)
郷土資料調査収集研究費	912	総合学術調査経費 郷土資料収集費
読書活動推進費	2, 519	協力車巡回諸経費等 読書振興大会補助金
計	85, 345	

徳島県立図書館資料収集方針

I 基本的考え方

- 1 資料の収集選択に当たっては、県立図書館としての基本的性格を踏まえて、図書館法並びに「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に定める資料を収集する。
- 2 「図書館の自由に関する宣言」（日本図書館協会採択 1979年改訂）の精神を尊重する。
- 3 資料の選定においては、資料の価値及び利用者の要求に十分配慮し、県民の意向や資料収集委員以外の職員の意見も十分反映させる。
- 4 図書館機能の役割を認識し、効率のよい収集を行う。
- 5 資料の収集においては、蔵書の各分野別のバランスが適正になるように調整を図り、基本的な図書を中心に広く収集し、かつ、蔵書がいつも新鮮な状態を保つように配慮する。
- 6 寄贈図書の受け入れについては、前項の収集方針を適用し、その運用については別に定める。
- 7 寄託資料については、原則として、新たな受け入れは行わない。

II 図書選定者の任務

- 1 出版される資料に関して、豊富な情報、資料を持つこと。
- 2 担当する領域の資料を読み、その内容を把握すること。
- 3 図書館利用者のニーズ及び社会の現状について研究すること。

III 図書の内容、形態による収集

- 1 以下の形態を取るものについては収集しない。
 - (1) 切抜、組立を目的に編集されたもの。
 - (2) 書込を目的として編集されたもの。
 - (3) 著しく耐久性に欠けるもの。
- 2 プライバシー（人権）を著しく損なう資料は、特に内容表現等を検討する。
- 3 対立関係になる問題を扱ったものについては、双方の主張を収集する。
- 4 受験参考書、問題集、教師用テキストは収集しない。
- 5 外国語図書については、利用頻度が高いと予想されるものを収集する。
- 6 宗教に関しては、バランスを考慮し、特定宗派に偏らないようにする。

IV 個別基準

＜郷土資料の収集＞

郷土資料の収集に当たっては、次の点について留意する。

- 1 郷土資料の範囲は、徳島県全域（淡路を含む～近世）とする。
- 2 郷土に関係した文献及び資料は、すべて郷土資料とする。ただし、その一部分のみが郷土に関係しているときは、必要に応じて郷土資料として取扱う。
 - (1) 郷土地域について書かれたもの
 - (2) 郷土の人物について書かれたもの
 - (3) 郷土出身者、郷土在住者、郷土在職者の著作物
 - (4) 郷土で発行された図書以外のもの
- 3 郷土に関する資料は、保存用、貸出用を収集する。

＜参考資料の収集＞

参考資料については、原則として次の種類について収集する。

- | | |
|-----------------|--------|
| 1 辞典 | 7 年表 |
| 2 百科事典 | 8 地図帳 |
| 3 専門辞典 | 9 書誌 |
| 4 人名（伝記）事典、地名事典 | 10 索引 |
| 5 便覧（ハンドブック） | 11 抄録 |
| 6 図鑑 | 12 統計書 |

＜児童資料の収集＞

児童の健全な育成に配慮し、収集する。

＜視聴覚資料の収集＞

- 1 市販されている録音図書（カセット、CD等）、紙芝居を収集する。
- 2 郷土に関する資料を収集し、保存する。

＜新聞・雑誌、その他逐次刊行物の収集＞

- 1 主要な全国紙、地方紙、外国新聞を収集する。
- 2 広く読まれる雑誌、専門的な逐次刊行物、主要な外国雑誌を収集する。
- 3 逐次刊行物として取扱う資料の基準は、「逐次刊行物資料判定基準（昭和63年4月1日制定）」によるものとする。

＜マイクロフィルムの収集＞

徳島県に関連するものを収集する。

＜特別集書の収集＞

橋や川に直接関係した内容、テーマのものを収集する。

V 資料の収集方法

- 1 新刊案内、出版目録、各種書評等で選定し、購入・寄贈等により収集する。
- 2 市町村立図書館および利用者からの貸出希望については、各選定基準に基づき、可能な範囲で収集する。

VI 資料収集委員会で検討するもの

- 1 漫画及び漫画に類似した資料
- 2 一枚ものの資料
- 3 徳島県立図書館閲覧の制限に関する要綱第2条に規定する関係資料
- 4 特定の団体、企業等の売り込みによる資料
- 5 全集、分冊、シリーズ本、自費出版本
- 6 高額な資料
- 7 リクエスト資料
- 8 その他検討が必要と認める資料

VII その他

資料収集に関する個別の運用基準については、別途定める。

徳島県立図書館資料収集・選定運用基準

【趣 旨】

この運用基準は、徳島県立図書館の資料の収集・選定を効率的に行うため、徳島県立図書館資料収集方針に基づき定めるものとする。

1 一般資料

(共通基準)

1. 各分野における原典、古典、名著は既存資料と内容を比較検討して収集する。
2. 各分野の主要な全集、選集、著作集、資料集、講座、叢書を収集する。
3. 各分野の入門書、概説書は専門的な観点から記述された内容の充実したものを収集する。
4. 各分野の専門書、学術書は類書と内容を比較検討して収集する。
5. 内容が高度で細分化された専門分野の資料については、大学・専門機関等の収集に委ねる。
6. 政府及び政府関係機関、団体などの資料は、各種報告書を中心に収集する。
7. 類書が多い分野は、テーマを史実や研究課題として扱ったもの、代表的な観点で書かれた資料を収集する。
8. 社会的関心の高いテーマに関する資料は、内容の充実したものを収集する。
9. 徳島県と関連の深い内容、県政課題、県民に関心のある課題に留意して収集する。
10. 各分野における受賞作品は、既存資料の利用状況などを考慮して収集する。
11. 増補、改訂版については、旧版との差異を考慮して収集する。
12. 復刻版は、蔵書構成の中で資料的価値のある資料を収集する。
13. 大活字本は積極的に収集する。
14. 実用書は、調査・研究に有効なものを中心として収集する。
15. 保存、利用に適さない形態の資料は、原則として収集しない。一過性ではなく長期の利用に耐えうる資料を収集する。
16. 単行本がある場合は、原則として文庫本より優先して収集するが、リクエストにおいてはこの限りではない。
17. 逐次刊行物扱いの資料と重複するものは収集しない。
18. 劣情をそそる資料については収集しない。

(分野別基準)

各分野においては、とくに以下の点に留意して収集する。

ア 総記

1. 情報科学に関する資料は入門書から専門書まで、最新のものを収集し、更新に努める。
2. 図書館、図書館学に関する資料は、積極的に収集する。

イ 哲学・宗教

1. 世界と日本の主要な哲学者の代表的な著作および哲学に関する解説書、研究書などを体系的・系統的に収集する。
2. 超心理学、心霊研究、占いに関する図書は研究書については精選し、それ以外のものについては厳選する。
3. 世界と日本の主要な宗教の聖典および宗教に関する解説書、研究書などを体系的に収集する。

ウ 歴史・地理

1. 歴史に関する基本的な資料、主要な解説書、研究書を幅広く収集する。
2. 日本の歴史に関する資料は、精選して収集する。
3. 世界各国、各地域の歴史に関する資料は、蔵書構成に考慮して収集する。

4. 伝記は、各分野、各時代の代表的な人物を中心に精選して収集する。
5. 地理については、国内外ともに蔵書構成に考慮して収集する。
6. 旅行ガイドブックは精選する。主要なものは必要に応じて更新する。

エ 社会科学

1. 各国事情に関する資料は、各国、各地域を網羅する。蔵書構成に考慮して収集する。
2. 法律に関する資料は、入門書から専門書まで幅広く収集する。法令の制定、改正などに留意して、必要に応じて更新する。
3. 政治、経済に関する資料は、入門書から専門書まで幅広く収集するが、長期的な利用が見込めない時事的なものについては厳選して収集する。
4. 社会問題に関する資料は、幅広く収集する。
5. 教育に関する資料は、幅広く収集する。特に家庭教育、生涯学習に関する資料に留意して収集する。
6. 風俗、民俗に関する資料は、各地域、各民族を網羅する。

オ 自然科学

1. 自然科学に関する資料は、各分野について入門書から専門書まで幅広く収集する。
2. 医学・薬学に関する資料は、人体や病気及び医療についての理解に役立つ資料を中心に収集する。民間医療については、客観性、科学性、信頼性に留意する。
3. 科学の楽しさを伝えるエッセイや趣味教養の資料なども著者・話題性・内容を考慮し、精選して収集する。

カ 技術・工学

1. 最新の研究成果や技術の進歩に留意し、体系的に収集する。各種の規格類、図面、図集などは基本的なものを必要に応じて収集する。
2. 研究の成果が生活の安全などに反映される分野に関しては、その知識の理解を助けるよう、基本的でわかりやすい図書を中心に収集する。
3. 生活科学については、学術的なものだけでなく日常生活に役立つ実用書を必要に応じて収集する。

キ 産業

1. 各種産業に関する資料を幅広く収集する。新しい技術や研究成果および社会的動向に留意する。
2. 商業、運輸、通信事業に関する資料は、最新の企業動向、時事性、話題性に留意して収集する。
3. 家庭向けの園芸資料、ペットに関する資料は精選する。

ク 芸術

1. 国内外の芸術の各分野の主要な解説書、研究書、作品集等を体系的に収集する。
2. 個人の画集、作品集については、当該作家の評価、知名度、既存資料との重複を考慮して精選する。
3. コミック漫画は、収集しない。ただし、学習漫画は別途に判断する。
4. 写真集は、芸術性、記録性などに留意し精選する。
5. 音楽に関する資料は、幅広い分野の資料を収集する。楽譜は収集しないが、歌集、楽譜集は基本的なもの、調査・研究に有効なものを中心に収集する。
6. 伝記、読み物、エッセイは、既存資料と比較検討し精選する。
7. スポーツは、ルールブックや技術書などを中心に精選して収集する。
8. 囲碁、将棋、ゲーム等室内娯楽に関する資料は厳選して収集する。

ケ 言語

1. 文字・言語の歴史や成り立ちが概観できるもの、各言語の語彙・単語、文法、音韻、文体等が体系的に理解できるものを収集する。
2. 言語辞典は各言語の歴史・文化や有用性を考慮して収集する。
3. 学習等のための語学実用書は、目的に合わせてその効果の高いものを精選して収集する。ただし、試験・資格を対象としたものは内容を十分に吟味する。

コ 文学

1. 内外の文学が体系的に理解できるような文学史、文学論を収集する。
2. 古典から現代まで文学史上に登場する主な作品とそれに関する作家論、作品論は幅広く収集する。著名な文学作品やその関係書については、精選する。
3. 文学形式や小説分野を問わず、描写にすぐれ作品性の高いものを収集する。
4. 時代性や社会性を反映し、将来評価の対象となりえる文学作品を収集する。
5. 主要言語の外国作品だけでなく、それ以外の外国作品も秀作を中心に幅広く収集する。

2 逐次刊行物

県内市町村立図書館、大学図書館、類縁機関等における収集状況を考慮し、慎重に選定する。

1. 雑誌

- (1) 情報誌は、多様な意見を反映した蔵書構成に努める。
- (2) 専門誌は、速報性、蓄積性を考慮し、幅広く収集する。
- (3) 業界誌は、各業界の動向が把握できるものを収集する。
- (4) 医療・健康誌は、記事の信憑性を吟味し、幅広く収集する。
- (5) 芸術・文化誌は、幅広い読者を対象としたものを収集する。
- (6) 文芸誌は、代表的なものを収集する。
- (7) 実用誌は、日常生活に役立つものを精選する。

2. 新聞

- (1) 主要な全国紙と地方紙、業界紙などを収集する。

3. 年刊類

- (1) 各分野の代表的な年鑑、年報類については、積極的に収集する。
- (2) 政府刊行の白書、統計類については、積極的に収集する。
- (3) 統計、調査報告は、一次資料を中心に収集する。また、編集されているものについては体系的に編集され、調査・研究に有用なものを収集する。
- (4) 継続収集に努めるが、定期的に版を重ねる（改定される）資料で大部なものは、必要に応じて随時収集する。

3 参考資料

- (1) 現在の社会情勢、県民の有する課題を考慮し、調査・研究活動を支援するものを、内容の改定に留意し積極的に収集する。
- (2) オンラインデータベースは、調査・研究に有用なものを精選する。
- (3) 館全体の蔵書構成を考慮し、整合性を図る。
- (4) 地形図等については、一枚ものであるが収集する。

4 特別集書

- (1) 橋と川に関する資料を幅広く収集する。
- (2) 農業利水、農業用水（614.3）は原則として除く。

5 郷土資料

1. 原則として、次のものを資料の種別に関係なく網羅的に収集する。

- (1) 内容が徳島地域に関する資料。地域の対象は徳島県全域とする。ただし、近世までは淡路を含む。
 - (2) 内容が徳島ゆかりの人物に関する資料
 - (3) 個人著者等が徳島出身の資料
 - (4) 個人著者等が徳島在住または在職で、その足跡、活動が地域に影響を与えた人の資料
 - (5) 県内自治体、関係機関が発行する地方行政資料
 - (6) 徳島に拠点を置く事業所や各種団体が発行する年報、概要、研究報告、機関誌、記念誌、広報、リーフレット
 - (7) 県内の学校等が発行する要覧、研究紀要、記念誌、校誌、副読本、新聞、施設案内
 - (8) 徳島で発行される同人雑誌
 - (9) 徳島を舞台にした文芸作品
 - (10) タウン誌、ミニコミ紙
 - (11) 観光パンフレット、イベントちらし
 - (12) 徳島の地方新聞および全国紙の徳島地方面
 - (13) 徳島の地図類
 - (14) その他郷土資料として保存・利用が必要なもの
2. 資料全体の一部分を扱っている場合は、量、内容、蔵書構成等を考慮し、必要に応じて収集する。
 3. 一般雑誌、多巻ものの一部（1巻）に徳島を扱っている場合は該当の巻を収集する。
 4. 保存用のほかに閲覧用、貸出用の収集に努める。

6 児童資料

1. 乳児から中高生など10代の子どもまでを対象として、次の資料を網羅的に収集する。
 - (1) 児童図書
 - (2) 紙芝居
 - (3) ヤングアダルト向けの図書
 - (4) 児童対象の録音図書など（CD）
 - (5) 児童向きの逐次刊行物
2. 児童資料室用図書として次の資料を収集する
 - (1) 児童図書や子どもの読書について調査・研究するための資料
 - (2) 子どもの読書推進に役立つ大型絵本や関連資料
 - (3) 但し、教科書及び教科書に関する研究書は、収集しない。
3. 収集の制限
原則として、次の形態や内容の資料は収集しない。
 - (1) 形態
 - ・ 散逸しやすいもの
 - ・ 組み立て、切り抜きを目的に編集されたもの
 - ・ 著しく耐久性に欠けるもの
 - (2) 内容
 - ・ 受験用参考書、問題集
 - ・ 商業的キャラクターを扱ったもので、マニュアル用として利用されるもの（ゲームの攻略本など）
 - ・ 戦争、性、生命等を興味本位に扱ったもの
 - ・ 童謡・わらべ唄を除く、音楽が主となるもの（CD、カセット）

附則

この基準は、平成25年4月1日から施行する

Ⅲ 平成24年度事業報告

1 情報支援課 関係

図書館の維持管理及び職員の人事、服務に関する事務を執行したほか、文化の森他館との連絡調整、研修会等を開催するとともに、友好文化団体と協力して業務を実施した。

また、市町村立図書館に対し、援助・協力するとともに、「とくしまネットワーク図書館」システムの充実に努め、県下の中核図書館として県民へのサービスを進めた。

(1) 企画関係業務

- ① 図書館の維持管理
- ② 各種統計調査、年報の発行
- ③ 各種講演会、図書館研修会等への職員の派遣
- ④ 徳島県立図書館協議会を1月18日に開催した。

(2) 協力関係業務

協力車による資料の貸出、県内図書館間の相互貸借、情報交換等を行った。また、県内全公共図書館と図書館未設置町教育委員会を訪問し、相談・助言を行った。

県内高等学校・特別支援学校図書館を対象に希望する資料の貸し出しを行っている。また、各読書振興団体と協力して読書の振興・普及を図った。

① 協力車による援助・協力活動を行った。 延べ巡回日数 336 日

(ア) 市町村立図書館に対する援助・協力活動を行った。

対象市町村数 19 市町村

協力貸出（リクエスト） 貸出冊数 18,321 冊

(イ) 図書館未設置町への資料援助を行った。

対象町数 5 町

協力貸出（リクエスト） 貸出冊数 1,760 冊

② 相談業務を実施した。

対象 市町村立図書館 28 館、図書館未設置町 5 町

③ 県立学校図書館への資料援助を行った。

利用学校数 23 校 協力貸出（リクエスト） 貸出冊数 2,611 冊

④ 県立病院と連携した貸出サービスを実施した。

利用病院数 1 病院 貸出冊数 1,200 冊

⑤ 団体貸出の実施（職場・学校などの団体に対して貸し出しを行った。）

利用団体数 2 団体 貸出冊数 65 冊

⑥ 読書会文庫の貸出（1セット10冊の読書会文庫を貸し出した。）

利用団体数 13 団体 貸出冊数 1,435 冊

⑦ 「まなびの森」講演会（生涯学習支援事業）を放送大学学習センターと連携し行った。

開催講演数 12 講演 参加人数 603 名

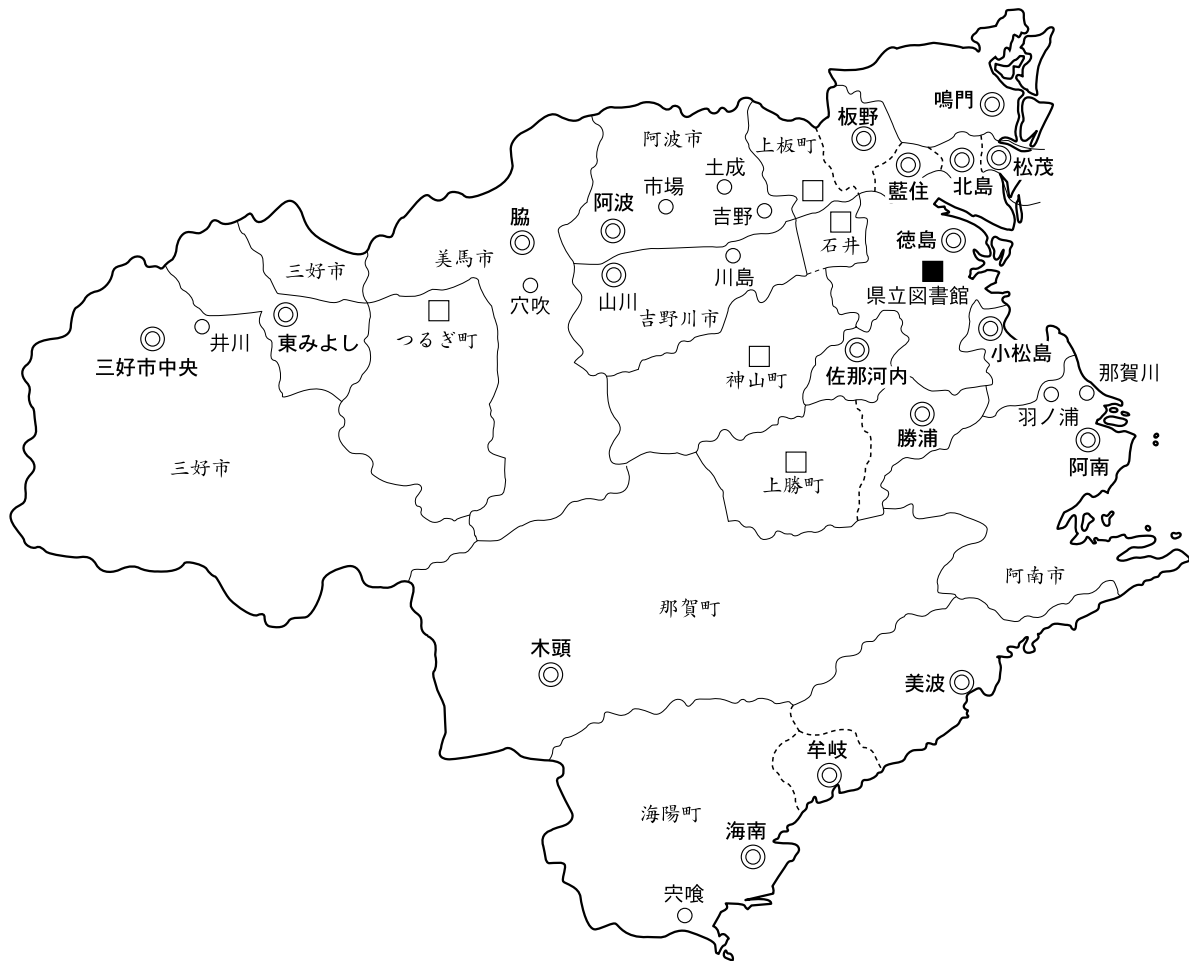
⑧ 総合学術調査を三好郡東みよし町において実施（平成24年7月27日から8月5日まで）した。

平成24年12月9日、三加茂公民館多目的ホールで総合学術調査発表会を行った。「総合学術調査報告 東みよし町『旧三加茂町』」を発行する。

⑨ 実務者担当者会を開催し、協力通信 No.207～211 を発行した。

■ 協力車の巡回状況

(平成22年4月1日から県内すべての市町村に巡回開始)



◎：協力車巡回対象市町村立図書館（19館…自治体内の中心館に巡回）

□：協力車巡回対象教育委員会等図書館以外の施設

2 調査相談課 関係

県立図書館の基本的資料である逐次刊行物・参考図書・郷土資料を収集、整理、保存して広く県民の利用に供した。

館内及び、館外からの文書・電話・メールによるレファレンスサービス、県外公共図書館への相互貸借、市町村立図書館への協力業務（レファレンス）を進めたほか、郷土に関するあらゆる資料の収集と新聞のデジタル化・マイクロフィルム化を図り利用に供した。

(1) 逐次刊行物関係業務

逐次刊行物は、296,959冊を所蔵しており、ブラウジングコーナー・新聞雑誌コーナー等には、雑誌513タイトル（購入283、寄贈230）、新聞51種（購入30、寄贈21）、各種の年鑑、白書、統計等を配架して利用に供するとともに、一部を除き貸し出しも行った。

① 資料購入費（備品費）2,327,538円で、年鑑、白書等259点を購入した。

② 資料購入費（需用費）5,101,449円で、雑誌3,534冊、新聞30種、官報を購入した。

- ③ 寄贈資料は 3,633 冊を受け入れた。寄贈新聞は 21 種であった。
- ④ 製本費 121,275 円で、官報 55 冊の製本を行った。
- ⑤ 徳島県内公共図書館の購入雑誌と所蔵新聞について調査し、『徳島県内公共図書館購入雑誌・所蔵新聞目録 2012 年版』を作成するとともに、ホームページ上で「県内公共図書館雑誌一覧」を公開した。
- ⑥ 県立図書館応援事業として雑誌スポンサー事業を実施し、20団体より47誌の提供があった。
- ⑦ 雑誌のバックナンバーを用いた小展示をブラウジングコーナーで行った。
- ⑧ 4月から電子コピー機による複写サービスについて業務委託を行った。複写枚数は、56,196枚（白黒54,435枚、カラー1,761枚）であった。

(2) 参考資料関係業務

- ① 3,096,294 円で 参考図書 295 冊、93,053 円で 特別集書（橋と川に関する資料）を31 冊購入した。
寄贈資料は、参考図書 263冊、CD-ROM等8点、特別集書 5冊、CD-ROM4点であった。
- ② 参考資料数は 64,872 点であり、そのうち参考資料コーナーには 23,473 冊を開架した。特別集書数は 6,402 冊で特別集書コーナーに 4,034 冊を開架した。
- ③ 参考質問件数は 11,983 件で、内訳は、レファレンス記録記載分 1,349 件（そのうち、市町村立図書館等からの参考質問は 101 件、県議会・行政機関からの参考質問は27件）、所蔵検索等の資料案内件数が 10,634 件であった。
- ④ 資料の探し方についてのパスファインダーを作成し、館内で配布した。
- ⑤ 資料の相互貸借は、他館からの借り受けが 104 件 161 冊、他館への貸し出しが 814 件 1,294 冊で、合計918 件 1,455 冊であった。（協力車による県内図書館への貸し出しは除く。）
- ⑥ DVD-ROM版、CD-ROM版のデータベースを閲覧用端末 3 台で、「聞蔵」等の商用データベースを端末 2 台で利用に供した。また、これらデータベースのプリントサービスを行った。枚数は 1,873 枚（白黒 1,873 枚、カラー 0 枚）であった。
- ⑦ 利用者用インターネット端末2台の利用は471件であった。
- ⑧ 県立図書館の参考図書の新着案内を月1回「とくしまネットワーク図書館」に掲載した。

(3) 郷土資料関係業務

- ① 資料購入費（備品費）1,409,542 円で、図書 583 冊、CD 5 枚、DVD 2 枚を購入した。
- ② 172,200円で新聞のマイクロフィルム 4 巻と縮刷版DVD 12枚 を購入した。
- ③ 資料購入費（需用費）86,922 円で、逐次刊行物 5 タイトル 104 冊と郷土新聞 1 タイトルを購入した。
- ④ 寄贈図書 706 冊、寄贈逐次刊行物 2,455 冊、その他の寄贈資料 13 点を受け入れた。
- ⑤ 製本費 182,070 円で、新聞等 5 タイトル 37 冊の製本を行った。また、102,480 円で 30 冊の修理製本を行った。
- ⑥ 「徳島新聞」等のマイクロフィルムの閲覧 547 人、複写 7,225 枚であった。
- ⑦ 研究室1：18 件 20 人、研究室2：0 件 0 人、撮影室 34 件 34 人の利用があった。
- ⑧ デジタル画像閲覧システムの完成により、デジタル化が終了した郷土関係の新聞や和古書の

閲覧・利用が専用端末で始まった。また、ホームページ上において、追加リニューアルなったデジタルライブラリとポータルサイト〈阿波徳島へのいざない〉を公開した。

⑨ 郷土資料を探すためのヒントを与えるパスファインダー第1号を作成し、館内配布した。

⑩「阿波国文庫」展などのミニ展示を郷土資料コーナーの展示ブースで計7回行った。

3 資料課 関係

一般貸出用資料、児童資料を購入及び寄贈により収集し、整理、保存している。

それらの資料により、館内閲覧、個人貸出を行った。また、障害者、高齢者へのサービスの充実を図り、子どもの読書活動推進についての研修会、展示等を実施し、さらに視聴覚資料の効果的運営に努めるなど、県民全体への充実したサービスの向上を図った。

(1) 貸出関係業務

① 図書資料購入費 15,573,524 円で、一般資料コーナー用図書8,319 冊 15,318,044 円（大活字本を含む。）、視聴覚資料 19 点 165,480 円（一般用CD 8 枚、DAISY 11 タイトル）、点字図書分室用資料 14 点 90,000 円をそれぞれ購入し、整理した。

② 寄贈資料 1,382 冊を受け入れ、整理した。

③ 平成24年度末の一般資料数は 696,532 冊である。一般資料コーナーに約 21 万冊を開架し、書庫一般の資料は出納により利用に供した。平成 23 年度の書庫一般からの出納は23,631 冊で一日平均 82 冊であった。

④ 貸出冊数、貸出利用者数、登録者数

6 諸統計（24ページ）参照

⑤ 一般資料のリクエスト（予約）は 16,197 件であった。

⑥ 障害者への郵送貸出の利用は、図書・雑誌 988冊、一般用視聴覚資料 293 点、障害者専用カセットテープ 636 巻、DAISY 22 枚であった。

また、点字図書は、点字図書分室（県立盲学校）で利用された。

⑦ AVコーナーでは、CDデッキ 1 台を設置し、ヘッドホンにより自由に聴けるようにしている。また、車椅子のまま利用できるCD・カセット用機器を設置している。

⑧ 県立図書館応援事業のベストセラー寄贈事業では、83 冊の寄贈を受けた。

⑨ 「とくしま 私のこの一冊～徳島ゆかりの著名人」事業

平成 25 年 2 月 13 日より、ブラウジングコーナーにて、読書をより親しみやすいものとし、読書活動の推進を図ることを目的に、県内外の徳島ゆかりの著名人による推薦図書の紹介文をパネルにし、本とともに展示した。また、同内容をホームページ上で公開した。

第1回：平成 25 年 2 月 13 日～6 月 16 日

(2) 児童関係業務

① 資料購入費（備品費） 3,499,835 円で、児童関係図書2,311冊、紙芝居58巻を購入し、整理した。また、新聞・雑誌購入費（需用費）は 198,082円で、新聞を毎月 3 種類、雑誌を34種購入した。

② 館内利用と閲覧

こどもの本コーナーに約 50,000 冊を、児童資料室に子どもの読書や児童図書関連の研究書など約 3,500 冊を開架図書として配置した。

コーナーの一角に、ヤングアダルトコーナーを設け、中・高校生向けの図書を別置した。

また、子育てに関する図書約800冊と雑誌9誌、赤ちゃん絵本約300冊を集め、子育て関係機関等のパンフレットなども置いた、子育て支援図書コーナーの充実を図った。

③ 参考サービス

貸し出しとあわせてこどもの本に関する読書相談及び参考質問に応じた。また、なお一層のサービス向上を図るため、こどもの本、こどもの読書に関する参考図書や郷土関係資料を収集してその充実に努めた。

④ 児童関係資料のリクエスト（予約）は、2,261 件であった。

⑤ “こどもの読書と子育て応援” 寄贈図書・雑誌募集事業

家庭で必要な時期が終わり使われなくなった本を寄贈していただき、県立図書館をはじめ市町村立図書館等で貸出しするなど広く活用するために、こどもの本及び子育ての本・雑誌の寄贈を呼びかけた。

広報期間：平成 24 年 10 月 27 日（土）～ 11 月 9 日（日）

寄贈総数：1,768 冊（平成 25 年 1 月末現在）

県立図書館で 912 冊整理したほか、市町村立図書館、公民館図書室、学校図書館等に配布し活用を図った。

⑥ こどもの読書に関する研修会・行事

○「藤田浩子さんのわらべうたとおはなし」研修会 9月13日 参加者：35名

講師：藤田浩子氏（「おはなしおばさん」こと語り手、幼児教育者）

藤田浩子さんによる赤ちゃんとおはなし会に続けて、読み聞かせボランティア、子育て支援関係者等対象に、わらべうたやおはなしを学ぶ研修会を行った。

○行事

徳島県下水環境課 夏休み出前講座「汚水はどこへ？」 7月26日 参加者：37名

四国大学 阿部先生と学生による ブックトーク 8月 7日 参加者：22名

えいごのおはなし会 8月19日 参加者：22名

「図書館探検隊 2012」 8月19日 参加者：27名

文化の森大秋祭り「秋のおはなし会」

11月3日（午前の部）参加者：23名 （午後の部）参加者：25名

「秋の図書館探検隊」 11月 3日 参加者：22名

親子で楽しむクリスマスおはなし会 12月 2日 参加者：72名

赤ちゃんとおはなし会（毎月第2木曜日） 年間12回 参加者：延べ 286名

おはなし会（毎月第2・4日曜日） 年間24回 参加者：延べ 411名

⑦ 広報

「こどもの本コーナーりようあんない」を常備し、利用者に配布した。

また、毎月1回「こどもの本コーナーだより」を発行し、利用者のほか県内の市町村立図書館、四国他県の図書館等に配布した。徳島県立図書館ホームページの「こどもの本コーナー」にも掲載した。

⑧ こどもの本コーナーの雰囲気づくり

年中行事を盛り込んだ展示テーマ（月別）を設けて類書の別置をするなどの読書環境づく

りを行った。

4 図書館システム関係業務

(1) 徳島県立図書館ホームページの運営

平成12年4月から徳島県立図書館のホームページを開設しており、平成24年4月にはリニューアル作業を行った。また、随時更新作業を行っている。

(2) コンピュータ委員会

各係より選出された6名でコンピュータ委員会を構成し、図書館業務システムの各種運営等についての討議及び作業を行った。また、県立図書館ホームページ及び文化の森データベースの図書情報提供システム、職員端末用ネットワークシステムの運用作業も行った。

(3) システム担当者会（随時）

文化の森5館の担当者の会議に出席。業務システム及び文化の森情報システムの運用のための各種作業、各館の情報交換についての作業を行った。

(4) 「図書館を知ろう」資料検索講座の開催

①「図書館を知ろう」資料検索講座

開催日 平成24年11月22日（木）
場 所 21世紀館3階 情報文化実習室
対象者 パソコン経験のある方
内 容 図書館のホームページの活用講座
参加者 4名

②「図書館を知ろう」資料検索講座

開催日 平成24年11月29日（木）
場 所 21世紀館3階 情報文化実習室
対象者 パソコン経験のある方
内 容 図書館のホームページの活用講座
参加者 1名

③「図書館を知ろう」資料検索講座・上級：郷土資料編

開催日 平成24年12月6日（木）
場 所 21世紀館3階 情報文化実習室
対象者 パソコン経験のある方
内 容 図書館のホームページを活用した郷土資料の検索方法
参加者 3名

(5) 「とくしまネットワーク図書館」システムの運用

とくしまネットワーク図書館システムの運用を行った。

5 他機関との連携事業ほか

(1) しごと応援コーナーのリニューアル

平成23年9月から設置している若者の就業支援のための「しごと応援コーナー」を内容別に整理し、より利用しやすくリニューアルした。ホームページにおいて、同コーナーの資料リストを公開し内容紹介などの情報を得やすくした。また、仕事に関する本・雑誌の他に、ジョブカフェとくしま（徳島県若年者就職サポートセンター）・ハローワーク徳島と連携して、平成24年度は、185点の就業情報パンフレットやポスター、毎週発行の求人情報などを置き、情報提供を行った。

(2) 県立図書館 県政情報テラス事業

平成23年11月から、県政情報テラス事業として、県の重点施策や地域の課題をわかりやすく周知、理解していただくコーナーを一般資料コーナーカウンター横に設置、パブリックコメントと県政に関するチラシなどの広報資料を配布している。

24年度は、43件のパブリックコメントや募集結果を配布・公示した。また、県政に対する8件のチラシを配布した。

また、7月26日には、下水環境課の出前講座『汚水はどこへ?』を、3階集会室で開催するとともに、7月26日～8月19日まで、図書館3階ロビーで、関係資料の展示を行った。

(3) 県外図書館との交流企画展開催事業

図書館ネットワークを活用した企画交流展示により、図書館の情報発信力を高め、人・物の交流を促し、地域振興に資することを目的として平成22年度より開始した。

平成24年度は兵庫県立図書館との交流企画展示を行った。また、昨年に引き続きサッカーチームを核とした交換展示を鳥取県立図書館、熊本県菊陽町図書館と行った。

(4) 講師派遣、インターンシップの受け入れ、学校教育との連携

県立図書館では、社会教育施設や学校などの要請を受けて職員を講師として派遣している。

生徒が、自分の学習内容や進路に関連した就業体験や見学を行う「中高生の職場体験・インターンシップ」の受け入れも行っている。また、学校教育との連携として、学校の授業・遠足等による図書館利用を促進している。(別表)

(5) 文化の森連携事業

文化の森全館で8月19日に「文化の森サマーフェスティバル」、11月3日に「文化の森大秋祭り」を実施した。また、県立近代美術館の『『無言館』所蔵作品による『戦没画学生生命の絵』展』や県立博物館、県立鳥居龍蔵記念博物館の企画展にあわせて関連図書の小展示を行った。

(6) 健康・医療関連事業

徳島県看護協会主催の「まちの保健室」を平成20年9月末より図書館1階で月2回実施し、平成24年度は555名が利用、81名から疾患や健康についての相談が寄せられた。また、11月には「全国糖尿病週間」にあわせて、「ストップ!糖尿病」の小展示を行い、啓発パンフレットを配布した。

(7) 「特別整理」の県民への理解と休館期間の周知をはかるため、『特別整理』って何するの?」のポスターを作成し館内に表示するとともにホームページにも掲載した。

(8) 日本政策金融公庫との共催により、「とくしま創業応援フェア」として、パネルや資料の展示を1階エントランスで行った。

◆ 平成24年度刊行物

①平成24年度 年報	350 冊	(H24.6.1 発行)
②図書館カレンダー	30,000 枚	(H25.2.1 発行)
③阿波学会紀要第58号	300 冊	(H24.7.20 : 阿波学会)

[吉野川市山川町 総合学術調査報告]

講師の派遣

徳島県立図書館では、社会教育施設や学校などの要請を受けて職員を講師として派遣している。平成24年度の派遣は次の通りである。

期 日	会 場	講 座 内 容 等	派 遣 職 員	参加者
7月17日	徳島県立障害者交流プラザ	徳島県点訳友の会講習会 「インターネットによる読めないことばの調べ方」	山口洋子	35
8月1日	鳴門市立図書館	鳴門市子どもの読書推進委 研修「子どもの本の選び方」	小松真幸	28
8月2日	徳島県立21世紀館 県立図書館集会室	教職員初任者研修 「図書館を使って、楽しく学校生活を！」	宇山博子・山口洋子 山本みち・小松真幸	16
10月25日	城東高等学校	就職ガイダンス（高1対象）	大塚文	5
11月14日	鴨島支援学校	出前おはなし会	久保貴栄・小松真幸	60
11月26日	三好市中央図書館	三好市中央図書館職員研修会 「図書館の複写サービスについて」	山口洋子	8
12月11日	徳島県立障害者交流プラザ	音訳奉仕員養成講習会 「読めないことばの調べ方」	中原美弥	16
2月21日	徳島県立障害者交流プラザ	点訳奉仕員養成講習会 「読めないことばの調べ方」	山口洋子	6
2月22日	徳島県立21世紀館	徳島県学校司書部会研究協 議会 「レファレンス入門」	山口洋子	32

中高生の職場体験・インターンシップ

生徒が、自分の学習内容や進路に関連した就業体験や見学を行う「中高生の職場体験・インターンシップ」の受け入れを行った。

	学 校 名	日 時	内 容	参加者
1	八万中学校	7月4日～5日	図書館の概要説明・館内見学および 情報支援・調査・郷土資料・資料・ 児童各担当の業務について	1
2	城南高等学校	8月22日～23日	図書館の概要説明・館内見学および 情報支援・調査・郷土資料・資料・ 児童各担当の業務について	1
3	阿南工業高等専門学校	9月4日～7日	図書館の概要説明・館内見学および 情報支援・調査・郷土資料・資料・ 児童各担当の業務について	2

	学 校 名	日 時	内 容	参加者
4	徳島市立高等学校	10月2日～3日	図書館の概要説明・館内見学および 情報支援・調査・郷土資料・資料・ 児童各担当の業務について	1
5	城西高等学校	10月11日～12日	図書館の概要説明・館内見学および 情報支援・調査・郷土資料・資料・ 児童各担当の業務について	1
6	新野高等学校	10月25日～26日	図書館の概要説明・館内見学および 情報支援・調査・郷土資料・資料・ 児童担当の各業務について	3
7	南部中学校	10月31日～ 11月2日	図書館の概要説明・館内見学および 情報支援・調査・郷土資料・資料・ 児童各担当の業務について	2
8	科学技術高等学校	11月7日～8日	図書館の概要説明・館内見学および 情報支援・調査・郷土資料・資料・ 児童各担当の業務について	4
9	城西高等学校	11月14日～15日	図書館概要説明および、 情報支援 の業務について。館内整理作業	2
10	城東中学校	〃		2
11	みなと高等学園	11月27日～30日	情報支援・調査・郷土の業務について	1

学校教育との連携－学校の授業・遠足等による図書館利用－

	学 校 名	日 時	内 容	参加者
1	徳島市渋野小学校（3年）	5月10日	遠足・館内見学	42
2	上勝町上勝小学校（1・2年）	5月11日	遠足・館内見学	18
3	徳島市川内南小学校（1・2年）	5月18日	遠足・おはなし会	85
4	徳島市八万南小学校（2年）	9月12日	遠足・館内見学（書庫あり）・おはなし会	110
5	阿南市今津小学校（3年）	10月19日	遠足・おはなし会	32
6	鳴門市鳴門第一小学校（1年）	10月26日	遠足・おはなし会	73
7	徳島市方上小学校（2年）	10月31日	遠足・おはなし会	37
8	阿波市立土成小学校（3年）	〃	遠足・館内見学	37
9	吉野川市上浦小学校（1・2年）	11月2日	遠足・おはなし会	32
10	石井町高原小学校（2年）	11月6日	遠足・館内見学	42
11	徳島市不動小学校（4年）	11月29日	おはなし会	25
12	徳島市方上小学校（5年）	12月6日	遠足・こどもの本コーナーの紹介	37
13	佐名河内小学校（1・2年）	1月25日	遠足・おはなし会・館内見学	39

参考：図書館資料充実費内訳（雑誌等製本費を除く）

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
情報支援課情報支援担当					
	資料購入（備品費）費用	639,732	※貸出サービス課に統合	※資料課に統合	※資料課に統合
	冊数	230	※貸出サービス課に統合	※資料課に統合	※資料課に統合
○調査相談課					
(1)	逐次刊行物	7,510,771	7,239,636	7,202,385	7,428,987
	資料購入（備品費）費用	2,798,933	2,723,198	2,688,142	2,327,538
	点数	348	276	296	259
	資料購入（需用費）費用	4,711,838	4,516,438	4,514,243	5,101,449
	雑誌種数	289	290	285	283
	新聞紙数	30	30	33	30
	官報	1	1	1	1
(2)	参考資料（備品費）	3,383,091	4,029,813	3,663,045	3,189,347
	参考図書費用	3,309,742	3,908,023	3,587,011	3,096,294
	冊数	341	367	323	295
	特別集書費用	73,349	121,790	76,034	93,053
	冊数	28	41	25	31
(3)	郷土資料	1,711,893	1,417,262	1,463,648	1,496,464
	資料購入（備品費）費用	1,586,802	1,312,345	1,359,396	1,409,542
	図書冊数	737	556	551	583
	CD等点数	8	10	27	7
	資料購入（需用費）費用	125,091	104,917	104,252	86,922
	雑誌種数	10	7	8	5
	新聞紙数	1	1	1	1
○資料課					
(1)	貸出用図書（備品費）	14,635,435	14,322,970	13,889,391	15,573,524
	一般資料図書購入費	14,209,675	13,462,078	13,653,943	15,318,044
	冊数	7,631	7,400	7,680	8,319
	視聴覚資料購入費	335,760	770,892	145,460	165,480
	点数	56	99	21	19
	点字図書分室用資料費	90,000	90,000	89,988	90,000
	点数	30	17	11	14
(2)	児童関係図書	3,192,696	* 8,625,581	* 5,837,483	3,697,917
	資料購入（備品費）費用	2,955,957	8,411,632	5,599,969	3,499,835
	児童図書冊数	2,328	5,926	3,720	2,311
	紙芝居巻数	19	50	52	58
	CD等点数	2	4	4	0
	資料購入（需用費）費用	236,739	213,949	237,514	198,082
	雑誌種数	34	34	30	34
	新聞紙数	3	3	3	3
	図書資料購入費合計	31,073,618	35,635,262	32,055,952	31,386,239
	図書購入費（備品費）	25,999,950	30,799,958	27,199,943	25,999,786

*印は、子育て関連の
一般図書を含む

*印は、子育て関連の
一般図書を含む。

6 諸 統 計

○現有図書資料（平成25年 3 月31日現在）

〈単位：冊〉

区分 分類	館 内	館 外	こ ども	点字分室	計	前年度末現在
0：総 記	107,773	2,396	6,202	40	116,411	113,943
1：哲 学	57,081	4,429	1,682	50	63,242	62,483
2：歴 史	108,774	7,851	6,618	56	123,299	121,675
3：社会科学	280,199	12,489	9,461	131	302,280	296,438
4：自然科学	92,537	8,857	12,686	486	114,566	112,457
5：技 術	123,520	5,233	5,087	76	133,916	131,438
6：産 業	75,445	2,586	2,314	5	80,350	78,620
7：芸 術	120,707	7,820	14,943	164	143,634	141,300
8：言 語	22,549	1,568	2,233	315	26,665	26,436
9：文 学	210,097	67,322	46,542	846	324,807	320,912
童 話	13	6,663	14,428	0	21,104	21,048
絵 本	121	6,928	66,236	0	73,285	72,869
そ の 他	58,992	0	3,926	0	62,918	62,864
計（冊）	1,257,808	134,142	192,358	2,169	1,586,477	1,562,483

○利用者登録者数

区 分	
年間館内登録者数	3,768人
24年度末有効登録者数	*141,943人
団 体 貸 出（団体）	9 団体
読 書 会 文 庫（団体）	13 団体
点字図書分室	27 人

*貸出利用可能な登録者数を記載

○点字図書分室 ー 利用統計

（平成24年度） 〈単位：日・人・冊〉

月 別	開館日数	入館者数	貸出冊数
H24 4 月	20	198	38
5	21	237	72
6	21	310	71
7	21	204	61
8	23	143	46
9	19	229	77
10	22	219	61
11	21	210	64
12	19	137	44
H25 1	19	196	96
2	19	160	53
3	20	93	23
計	245	2,336	706

○図書貸出冊数（平成24年度）〈単位：冊〉

区 分		冊 数
個人貸出	図書	607,167
	洋書	2,222
	視聴覚資料	28,118
	逐次刊行物	42,153
	その他	4,966
	小 計	684,626
協力貸出	図書館・図書館未設置 町教育委員会	20,081
	県立学校	2,611
	小 計	22,692
	団 体	団体貸出
県立病院貸出		1,200
読書会文庫		1,435
小 計		2,700
障害者 専用カセット・DAISY		658
点 字 図 書 分 室		706
貸 出 総 数		711,382

○月別利用状況（平成24年度）

〈単位：日・人・冊・回〉

	開館 日数 (日)	登 録 者		貸 出 利 用 者		貸 出 冊 数		予 約 ・ リ ク エ ス ト		参 考 質 問							
		月 計	日平均	月 計	日平均	月 計	日平均	月 計	日平均	口頭	電話	文書	メール	資料案内	月計	日平均	
4 月	25	314	13	14,676	587	59,912	2,396	1,919	77	47	34	5	4	885	975	39	
5 月	25	303	12	14,684	587	59,032	2,361	1,861	74	74	30	4	5	879	992	40	
6 月	25	378	15	14,960	598	60,699	2,428	1,743	70	86	36	3	4	768	897	36	
7 月	25	412	16	15,593	624	62,141	2,486	1,691	68	82	39	4	10	883	1,018	41	
8 月	27	511	19	17,001	630	66,543	2,465	1,725	64	92	40	6	9	1,095	1,242	41	
9 月	25	309	12	15,030	601	59,086	2,363	1,913	77	60	24	4	12	807	907	36	
10月	25	304	12	14,570	583	57,211	2,288	1,877	75	64	26	2	7	755	854	34	
11月	25	293	12	13,858	554	54,549	2,182	1,722	69	72	34	7	8	700	821	33	
12月	23	174	8	12,586	547	49,706	2,161	1,581	69	61	23	0	8	868	960	42	
1 月	19	262	14	12,495	658	50,789	2,673	1,521	80	60	27	6	4	837	934	49	
2 月	18	218	12	11,462	637	46,098	2,561	1,413	79	60	28	3	7	966	1,064	59	
3 月	26	290	11	14,668	564	58,860	2,264	1,811	70	71	37	3	17	1,191	1,319	51	
合計	288	3,768		171,583		684,626		20,777		829	378	47	95	10,634	11,983		
平均	24	314	13	14,299	596	57,052	2,377	1,731	72	69	32	4	8	886	999	42	

○相互貸借の内訳(平成24年度)

都道府県名	貸し出し先	貸し出し		都道府県名	貸し出し先	貸し出し	
		件数	冊数			件数	冊数
北海道	旭川市中央	1	1	新潟市	新潟市立中央	1	4
	旭川市東光	1	3		新潟市生涯学習センター	1	1
	岩見沢市立	1	1		新潟市立白根	2	2
	市立釧路	2	2	石川	石川県立	1	1
	札幌市中央	6	35		金沢市立泉野	1	1
	札幌市曙	1	1		小松市立	1	1
	札幌市新琴似	1	2	福井	福井県立	1	1
	苫小牧市立中央	1	4		福井県立若狭図書学習センター	2	2
	音更町	1	1		坂井市立春江	2	3
	新ひだか町静内	1	1		美浜町立	1	2
青森	美幌町	1	1	山梨	山梨県立	2	2
	青森県立	5	7		県立長野	1	1
	八戸市立	1	1		飯田市立上郷	2	2
	岩手県立	1	1		諏訪市	1	2
岩手	宮城県	1	1		松本市中央	5	5
	仙台市民	1	1	岐阜	高山市	2	2
	仙台市泉	2	3		静岡県立中央	1	1
	仙台市広瀬	1	3		掛川市立大須賀	1	1
	仙台市宮城野	1	1		菊川市立菊川文庫	1	2
	仙台市若林	1	2		静岡市立御幸町	1	1
	柴田町	3	3		島田市立島田	1	1
山形	山形県立	2	3		沼津市立	2	2
	南陽市立	1	1		袋井市立袋井	1	1
茨城	茨城県立	14	20		焼津市立焼津	1	1
	守谷市立守谷中央	3	6	愛知	長泉町民	1	1
	栃木市立東	2	2		愛知芸術文化センター愛知県	8	13
	那須塩原市黒磯	1	1		一宮市立中央	1	1
	日光市立日光	1	1		一宮市立豊島	1	1
群馬	群馬県立	1	3		岡崎市立中央	1	1
	伊勢崎市	1	4		名古屋市鶴舞中央	6	7
埼玉	埼玉県立久喜	2	4		名古屋市天白	1	1
	川越市立中央	2	2		名古屋市瑞穂	2	2
	さいたま市立中央	2	2		日進市立	1	1
千葉	千葉県立中央	6	10		扶桑町	1	1
	千葉県立西部	2	2	三重	美浜町	1	1
	千葉県立東部	4	5		三重県立	3	3
	市川市中央	1	1		志摩市立	1	1
	浦安市立中央	2	3	滋賀	滋賀県立	1	1
	柏市立	2	2		大津市立	5	5
東京	東京都立中央	1	1		大津市北	1	1
	北区立中央	1	2		大津市立和邇	2	4
	国分寺市立恋ヶ窪	1	1		高島市立マキノ	1	2
	狛江市立中央	1	1		長浜市立長浜	1	1
	調布市立中央	1	1		東近江市立八日市	2	2
	西東京市中央	1	2		米原市立山東	1	2
	日野市立中央	1	1		野洲	3	3
	町田市立中央	5	6	京都	京都府立	8	14
	武蔵村山市立雷塚	2	2		宇治市西宇治	1	1
神奈川	神奈川県立	2	2		亀岡市立	1	1
	茅ヶ崎市立	1	1		京都市向島	1	4
	藤沢市総合市民	1	1		精華町立	1	1
新潟	糸魚川市民	1	1	大阪	大阪府立中央	2	3
	三条市立	1	1		大阪府立中之島	1	1
	長岡市立西地域	3	3		泉佐野市立中央	1	1

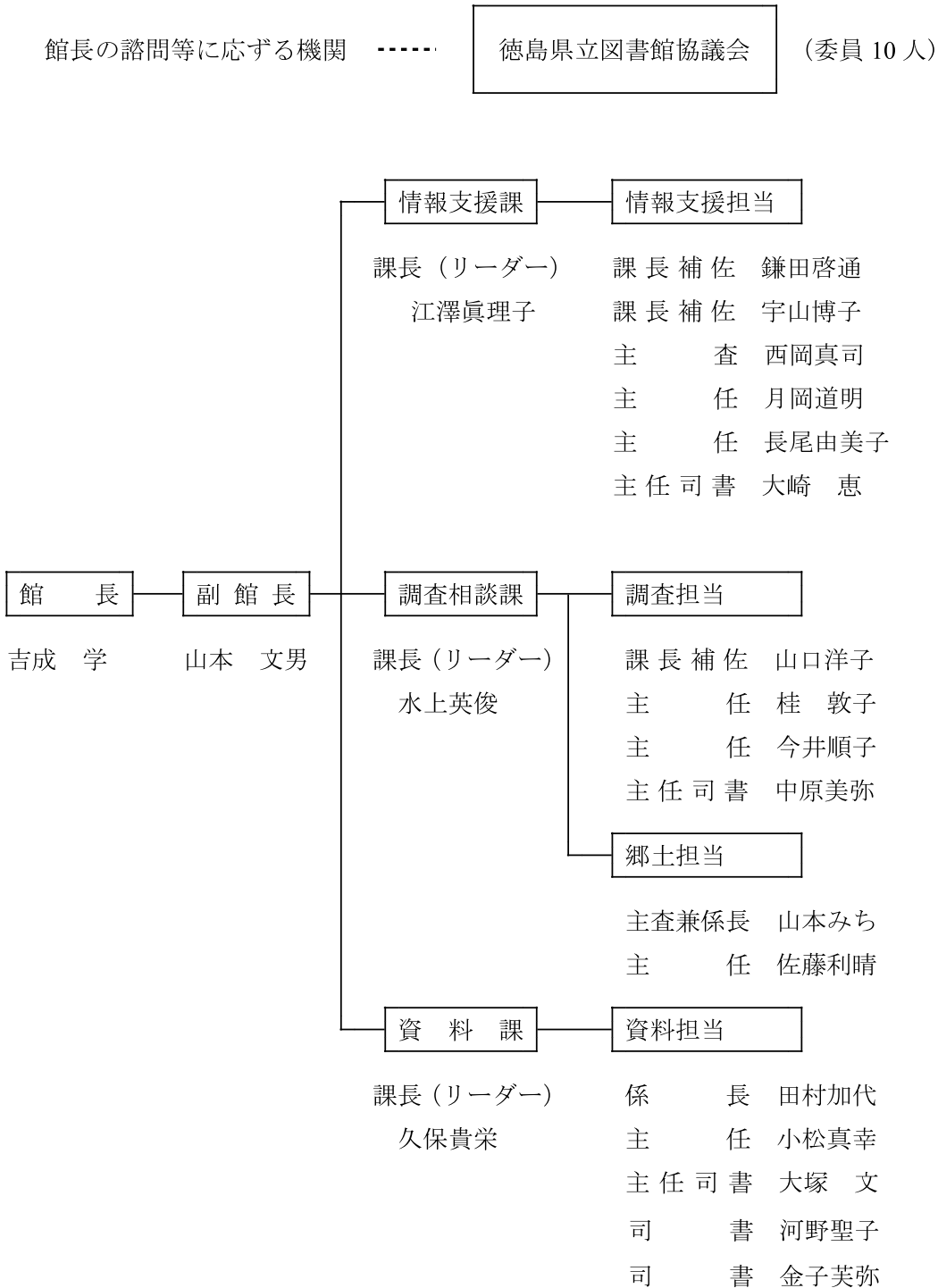
都道府県名	貸し出し先	貸し出し		都道府県名	貸し出し先	貸し出し	
		件数	冊数			件数	冊数
	茨木市立中央	5	11		広島市立中央	17	20
	大阪市立中央	1	3		広島市こども	1	1
	大阪市立生野	1	1		広島市立安芸区	1	1
	大阪市立東住吉	1	1		広島市立安佐北区	1	1
	大阪市立都島	1	1		広島市立西区	2	2
	交野市立青年の家	1	4		福山市中央	4	5
	堺市立中央	3	5		福山市東部	1	1
	吹田市立江坂	1	1		福山市松永	4	9
	吹田市立千里	2	2		熊野町立	1	1
	吹田市立千里山・佐井寺	1	1	山口	宇部市立	1	1
	高槻市立中央	1	1		下松市立	2	2
	富田林市立金剛	3	7		周南市立中央	2	4
	阪南市立	2	3		萩市立萩	2	5
	東大阪市立永和	2	2		山口市立中央	3	4
	枚方市立中央	2	2	香川	香川県立	6	6
	松原市民松原	2	2		観音寺市立中央	2	2
	箕面市立西南	2	4		坂出市立大橋記念	1	1
	八尾市立八尾	1	1		高松市中央	27	51
兵庫	兵庫県立	1	7		高松市香川	2	2
	芦屋市立	1	5		高松市国分寺	9	14
	神戸市立東灘	1	2		東かがわ市とらまる	2	2
	宝塚市立西	1	1		丸亀市立中央	13	22
	西宮市立鳴尾	1	1		丸亀市立飯山	3	4
	姫路市立城内	1	1		三豊市高瀬町	1	1
	三木市立青山	2	3		三豊市豊中町	1	1
	三木市立吉川	2	2		綾川町立生涯学習センター	1	1
	佐用町立	1	1		土庄町立中央	1	1
奈良	生駒市	4	5	愛媛	愛媛県立	13	16
	香芝市民	1	1		今治市立中央	18	33
	御所市立	1	2		今治市立大三島	1	1
	大和高田市立	3	4		今治市立波方	3	4
	田原本町立	1	1		宇和島市立中央	3	4
和歌山	和歌山市民	1	1		大洲市立	1	1
鳥取	鳥取県立	3	4		西条市立西条	10	15
	倉吉市立	2	2		西条市立丹原	3	3
	鳥取市立中央	1	1		西条市立東予	4	5
	琴浦町	2	2		四国中央市川之江	6	18
	八頭町立郡家	2	2		四国中央市土居	1	1
	湯梨浜町立	3	11		四国中央市三島	5	10
島根	雲南市立木次	1	1		西予市民中央館	2	3
	江津市	1	1		東温市立	10	14
岡山	岡山県立	7	10		新居浜市立別子銅山記念	14	23
	井原市井原	1	1		松山市立中央	15	30
	岡山市立中央	3	3		八幡浜市立市民	10	19
	倉敷市立中央	5	6		八幡浜市立保内	6	11
	倉敷市立児島	1	1		内子町図書館情報館	1	1
	倉敷市立真備	2	2		久万高原町立	2	2
	瀬戸内市牛窓町公民館	1	1		砥部町立	4	4
	総社市	5	7	高知	高知県立	38	85
	高梁市立中央	1	1		香美市立	1	1
	津山市立	1	1		香美市立香北分館	1	1
	鏡野町立	1	1		香南市香我美	5	5
	奈義町立	1	1		香南市野市	1	1
広島	広島県立	5	6		四万十市立	14	32

都道府県名	貸し出し先	貸し出し		都道府県名	貸し出し先	貸し出し	
		件数	冊数			件数	冊数
	宿毛市立坂本	7	10		福津市立	1	1
	須崎市立	4	4		宗像市民	1	1
	土佐市立市民	23	66		行橋市	6	19
	土佐清水市立市民	30	47		水巻町	1	1
	南国市立	15	25	佐賀	佐賀県立	2	2
	いの町立	2	4		鹿島市民	2	3
	越知町本の森	1	3		佐賀市立	6	6
	黒潮町立大方	4	4	長崎	長崎県立長崎	12	16
	田野町立	4	5		佐世保市立	3	4
	中土佐町立文化館	5	6	熊本	熊本県立	5	6
	仁淀川町立中央公民館	1	1		熊本市立植木	1	1
	日高村立	2	3	大分	大分県立	1	2
福岡	福岡県立	13	14	宮崎	宮崎県立	9	10
	朝倉市中央	1	1	鹿児島	鹿児島県立	2	2
	小郡市立	1	2		鹿児島市立	1	1
	春日市民	1	2	沖縄	沖縄県立	14	19
	北九州市立中央	2	2		沖縄市立	1	2
	久留米市立中央	3	6		那覇市立中央	1	1
	田川市立	1	1	大学	広島修道大学	1	1
	福岡市総合	10	26		九州大学附属	1	1
	福岡市南	1	1		熊本大学附属	1	1
	福岡市和白	3	3		合計	814	1294

都道府県名	借り受け先	借り受け		都道府県名	借り受け先	借り受け	
		件数	冊数			件数	冊数
	国立国会	4	7		広島市立中央	1	1
岩手	岩手県立	1	2	香川	香川県立	13	23
神奈川	神奈川県立川崎	1	1		観音寺市立中央	1	1
	横浜市中央	1	1		高松市中央	1	1
岐阜	関市立	1	1		丸亀市立中央	1	1
愛知	愛知芸術文化センター愛知県	1	1		丸亀市立飯山	1	1
	豊川市中央	1	1		三豊市仁尾町	1	1
三重	三重県立	2	3		三豊市山本町	1	1
滋賀	滋賀県立	2	12	愛媛	愛媛県立	6	7
京都	京都府立	1	1		今治市立中央	1	1
大阪	大阪府立中央	8	14		今治市立大三島	1	1
	大阪市立中央	2	2		宇和島市立中央	1	1
	堺市立中	1	1		西条市立西条	2	2
兵庫	兵庫県立	6	10		四国中央市川之江	1	1
	神戸市立中央	1	1		新居浜市立別子銅山記念	1	1
奈良	奈良県立図書情報館	1	1		松山市立中央	3	3
	奈良市立中央	1	1	高知	高知県立	10	14
	広陵町立	1	1		高知市民	4	5
鳥取	鳥取県立	4	7	佐賀	佐賀県立	1	1
岡山	岡山県立	8	17	鹿児島	鹿児島県立	1	1
広島	広島県立	2	3		鹿児島県立奄美	1	1
	大竹市立	1	4		合計	104	161

IV 管 理

1 組織機構・職員（平成25年4月現在）



2 施設・設備

建物の概要

- ◎ 建築面積 4,354.182 m²
- ◎ 延床面積 8,989.594 m²
- ◎ 構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造 地上3階 塔屋2階
- ◎ 収蔵能力 約120万冊

<施設規模及び構成要素>

用途・分類	面積 (m ²)	用途・分類	面積 (m ²)
<開架スペース> [4,085]		<管理スペース> [1,393]	
一般書架スペース	1,638	館長室	54
開架書架コーナー	1,305	事務室 (整理作業室)	411
ブラウジング	243	コンピュータ室	48
対面朗読室	13	会議室	87
ワークルーム	22	スタッフルーング	60
カウンター	55	集会室 (大)	122
こどもの本コーナー	566	集会室 (小)	65
開架書架コーナー	502	集会準備室	25
おはなしコーナー	37	控室	24
児童資料室	27	団体貸出室	39
新聞雑誌コーナー	370	図書整理室	74
参考資料コーナー	427	サービスマード	122
開架書架コーナー	404	展示ロビー	82
研究室	23	応接室	35
郷土資料コーナー	422	警備員室	22
開架書架コーナー	355	更衣室 (2)	22
マイクロリーダー室	27	湯沸室 (2)	17
研究室	23	倉庫 (2)	84
撮影室	17		
エントランスホール	204	<機械・設備スペース> [693]	
ロッカーコーナー	69	機械室 (5)	575
その他	389	電気室	92
<収蔵スペース> [1,843]		ハロンガスボンベ室	26
館内書庫	1,434	<その他> [975]	
館外書庫	349	1階エントランス	225
貴重書庫	60	その他	750
* 書庫は積層式になっているため、実質 3,626 m ² ある。			

3 沿 革

年 月 日	事 項
大正 5 年 7 月 24 日	大正天皇即位記念として創立。徳島県立光慶図書館と称する。
大正 6 年 6 月 24 日	開館式を挙げる。
昭和 20 年 7 月 4 日	戦災により焼失する。
昭和 24 年 5 月 3 日	徳島県立光慶図書館を再建し、憲法記念館と称する。
昭和 25 年 3 月 13 日	火災により焼失する。
昭和 25 年 7 月 25 日	移動図書館車「文化バス」が巡回を開始し、館外奉仕活動始める。
昭和 25 年 12 月 1 日	図書館法により、徳島県立図書館と称する。
昭和 28 年 11 月 3 日	館舎を再建し、館内奉仕活動始める。
昭和 30 年 4 月 1 日	「文化バス」を「やまなみ号」と改称する。
昭和 37 年 3 月 18 日	移動図書館車「やまなみ 2 号」を増車、やまなみ 1 号・2 号となる。
昭和 41 年 7 月 24 日	創立 50 周年記念式典を挙げる。
昭和 43 年 4 月 1 日	徳島県憲法記念館規則が廃止され、徳島県立図書館規則が定められた。 会計規則の一部改正により、憲法記念館から県立図書館に改名された。
昭和 45 年 3 月 31 日	徳島県立図書館規則が廃止され、徳島県立図書館管理規則が定められた。
昭和 51 年 7 月 14 日	移動図書館車を廃車し、配本車「やまなみ 2 号」を新設する。
昭和 52 年 7 月 28 日	創立 60 周年記念大会を挙げる。
昭和 55 年 1 月 7 日	知事が、図書館、博物館の改築、美術館の建設を中核とした「文化の森」構想を発表する。
昭和 57 年 3 月 23 日	文化の森の建設が、徳島市八万町向寺山に決定された。
昭和 59 年 5 月 9 日	図書館基本構想検討委員会が発足する。
昭和 61 年 3 月 10 日	文化の森各文化施設の基本設計が完了する。
昭和 62 年 3 月 10 日	文化の森各文化施設の実施設計が完了する。
昭和 62 年 6 月 25 日	創立 70 周年記念講演会を挙げる。
昭和 62 年 7 月 14 日	文化の森各文化施設の建設工事に着手する。
昭和 63 年 2 月 1 日	協力車「やまなみ」を新設する。(移動図書館事業の廃止による。)
平成元年 10 月 31 日	文化の森図書館棟の本体工事が竣工する。
平成 2 年 4 月 1 日	文化の森図書館へ移転のため休館する。
平成 2 年 11 月 3 日	文化の森図書館として新築開館する。
平成 7 年 10 月 17 日	文化の森開園 5 周年記念事業「ベストセラーでみる戦後展」を開催する。
平成 12 年 10 月 20 日	文化の森開園 10 周年記念「世紀末大博覧会」を 5 館共同で開催する。 図書館は、「海野十三の描いた未来」を担当する。
平成 17 年 10 月 22 日	文化の森開園 15 周年記念企画展「ふるさと再発見ー 15 の人・もの・場所」を 5 館共同で開催する。図書館は、「岡本韋庵」の展示等を担当する。
平成 22 年 2 月 16 日	文化の森に移転後、来館者一千万人を達成する。
平成 22 年 11 月 23 日	文化の森開園 20 周年記念展「軌跡」と記念行事「文化の森大秋祭り！」を 5 館共同で開催、おはなし会と阿波学会ワークショップ等を担当する。
平成 23 年 4 月 1 日	貸出カウンターの業務委託を行う。

4 歴代館長

就任年月日							館長				館長事務取扱																																			
大正5年7月26日	大正5年11月6日	大正6年3月31日	大正6年10月10日	大正10年3月17日	大正10年3月31日	大正13年12月6日	大正13年12月20日	大正14年1月9日	大正15年8月26日	昭和2年2月14日	昭和13年9月22日	昭和19年3月22日	昭和19年4月25日	昭和19年6月6日	昭和20年4月26日	昭和22年8月31日	昭和24年5月3日	昭和37年4月1日	昭和38年4月1日	昭和44年4月1日	昭和50年4月1日	昭和52年4月1日	昭和54年4月1日	昭和56年4月1日	昭和58年4月1日	昭和61年4月1日	昭和63年4月1日	平成2年4月1日	平成5年4月1日	平成7年4月1日	平成8年4月1日	平成10年4月1日	平成11年4月1日	平成13年4月1日	平成14年4月1日	平成15年4月1日	平成16年4月1日	平成17年4月1日	平成18年4月1日	平成19年4月1日	平成19年5月1日	平成20年4月1日	平成21年4月1日	平成22年4月1日	平成24年4月1日	平成25年4月1日
岩瀬龜之進							坂本 章好 三太				県内務部長 広瀬直幹 県内務部長 亀井光政 県学務課長 林恒四郎 県学務課長 碓野千太郎 司書 岩瀬龜之進				県学務課長 鈴木省吾 県内務部長 小島庄三 県学務課長 松本善一 県社会教育主事 栖崎				県青少年教育課 三沖 好田 菊武 夫雄 県青年教育課長																											
大岡原蒲藤上竹喜高石近岩岸芝山日中武米大小福松今桐早							谷島田池居原田田井堂藤佐				幹幹武正信浩俊泰静廣俊健				男雄夫夫雄一一臣雄光夫二司裕之二巖正二宏昭治清聰春一																															
																			桑上中林青吉							村野井木成				秀忠善志				誠樹良章行学												
											近代美術館長 阿部修三																																			

V 平成 24 年度 行 事 記 録

1 集 会 行 事

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人 員
4 月 27 日	徳島県読書振興協議会正副会長会	正副会長	24 年度読書振興大会について 24 年度理事会・総会について	8 22
5 月 11 日	徳島県公共図書館協議会理事会	理事	23 年度事業報告・決算、 24 年度事業計画・予算	24
6 月 8 日	第 1 回徳島県図書館職員研修会	講師： 新孝一氏 本山雅一氏	講演『『図書館の自由宣言』 成立についてのメモ』 講演「図書館サービスを 支える基本となるもの」	46
6 月 8 日	第 1 回阿波学会理事会・評議員会	理事・評議員	23 年度決算、24 年度計画	理 9 評 18
6 月 13 日	徳島県読書振興協議会理事会 総 会	理事 —	23 年度決算、 24 年度事業計画	理 22 総 37
6 月 27 日	第 2 回徳島県図書館職員研修会	講師： 山口洋子 松原美和 県立図書館職員	講義「レファレンス入門 —インターネットを 活用した検索法—」 講義「レファレンス入門 —郷土資料編—」	48
6 月 28 日	平成 24 年度総合学術調査 レギュレーション	調査役員・班長 東みよし町担当	調査テーマ・用品の確認 地元との協議	22
7 月 6 日	徳島県公共図書館協議会 第 1 回研究・研修委員会	研究・研修委員	24 年度図書館大会について 予約・リクエスト調査について	9
7 月 20 日	第 2 回阿波学会理事会	理事	阿波学会 60 周年記念事業 について 今後の阿波学会の総合学 術調査について	9
7 月 26 日	出前講座・徳島県下水環境課 「汚水はどこへ？」	県下水環境課職 員	小学 3 年～ 6 年を対象に 楽しく下水処理について 学ぶ	37
7 月 27 日	平成 24 年度総合学術調査結団式	役員・各班調査 員 講師：徳野隆氏 東みよし町長他	講演 「上月文書について」	57

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
7月27日 ～ 8月5日	平成24年度総合学術調査	各調査班員	東みよし町調査 「旧三加茂町」	95
8月7日	ブックトークキング	講師：阿部悦子氏 ・四国大学学生	夏にちなんだテーマによる ブックトークとしおり作り	22
8月19日	えいごのおはなし会 (文化の森サマーフェスティバル)	MEARNS TREVOR氏	えいごの本の読み聞かせ	22
8月19日	図書館探検隊 (文化の森サマーフェスティバル)	児童担当	図書館の事務室・書庫など ふだん入れない場所を案内	27
9月11日	徳島県読書振興協議会優良読書 グループ選考会	会長・副会長	全国及び徳島県の優良読書 グループ推薦団体を選考	8
9月13日	藤田浩子さんの わらべうたとおはなし	講師： 藤田浩子氏	わらべうたを中心とした赤ちゃん と楽しむおはなし会(赤ちゃん とその保護者対象)	69
			わらべうたや子育てにつ いての講演	35
9月21日	徳島県公共図書館協議会 第2回研究・研修委員会	研究・研修委員	予約・リクエスト取組の 実態調査の分析 図書館大会進捗状況	9
9月27日	第3回徳島県図書館職員研修会	講師： 苗村昌世氏 報告者： 小松真幸 県立図書館職員	講演「児童サービスの基 本の“き”」 報告「利用者参加型のイベ ントについてー図書館探検 隊・本のクリーニング」	40
11月3日	秋のおはなし会 (文化の森大秋祭り)	児童担当	絵本の読み聞かせ・ペー プサート・紙ヒコーキ作 りを午前・午後の2回実施	午前23 午後25
11月3日	図書館探検隊 (文化の森大秋祭り)	児童担当	図書館の事務室や書庫など ふだん入れない場所を案内	22
11月15日	阿波学会紀要第59号 第1回編集委員会	編集委員	阿波学会紀要59号の編 集について	12
11月22日	「図書館を知ろう」資料検索講座 (会場：21世紀館情報文化実習室)	講師：佐藤利晴 県立図書館職員	ホームページを活用して 探そう 本・雑誌	4
11月29日	「図書館を知ろう」資料検索講座 (会場：21世紀館情報文化実習室)	講師：大塚文 県立図書館職員	ホームページを活用して 探そう 本・雑誌	1

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
12月2日	クリスマスおはなし会	鳴門教育大学 人形劇団ころぼ つくる	人形劇、ゲーム、おはな しなど	72
12月4日 ～9日	「文化の森人権啓発展」 (文化の森6館共催) (会場：近代美術館1Fギャラリー)		「人権関係資料・識字関 係資料」を展示	356
12月6日	「図書館を知ろう」資料検索講 座(会場：21世紀館情報文化 実習室)	講師：山本みち 県立図書館職員	ホームページを活用して 探そう 郷土資料	3
12月7日	協力業務実務担当者会	実務担当者	県下の公共図書館間の協 力業務・相互貸借につい て	34
12月9日	東みよし町総合学術調査発表会	水質、地方史、植 物相、社寺建築、 昆虫、鳥類、社会、 民間薬調査班の調 査員、役員・学会 員・町長・町関係 者・一般参加者	担当班が調査内容を発表 し地元の方々と質疑応答	60
1月18日	徳島県立図書館協議会	協議会委員	23年度事業実績について 24年度事業の実施状況に ついて 徳島県立図書館サービ ス向上目標(第2期)の推進 ・評価について	23
1月25日	阿波学会紀要第59号 第2回編集委員会	編集委員	阿波学会紀要59号の編 集について	12
2月14日	徳島県図書館大会 テーマ：「子どもの読書環境と児 童サービスの向上について考え よう」	講師： 赤木かん子氏 三村敦美氏	講演：「子どものために、 いま図書館ができること、 しなければならないこと」 講演：「学校・学校図書館 と公共図書館の連携～本 のある環境づくり～」	84
2月15日	第2回阿波学会評議員会	理事・評議員	平成25・26年度阿南市総 合調査について 阿波学会60周年記念事業 について	19
2月16日	徳島県読書振興大会 (徳島大会：徳島市)	講師：井上京子 氏	講演「本に親しむ子ども に」／事例発表「徳島市 立図書館のあゆみ」	150

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
2月22日	阿波学会紀要第59号 第3回編集委員会	編集委員	阿波学会紀要59号の編集について	10
3月1日	徳島県公共図書館協議会 第3回研究・研修委員会	研究・研修委員	予約・リクエスト取組の実態調査について 来年度の研修について	8
3月26日	阿波学会紀要第59号 第4回編集委員会	編集委員	阿波学会紀要59号の編集について	11

○ 共 催 集 会 行 事 まなびの森講演会（毎月1回：放送大学徳島学習センターと共催）

期 日	講 演	講 師	内 容 等	人 員
4月7日	放射能汚染の正しい知識～正しく怖がるために～	講師： 三好弘一氏	放射能汚染は、どのようにして起こり、測定し、とり除くのか。放射能、放射線、線量などの言葉の意味や、放射線の人体への影響と防護についての考え方も説明した。	53
5月12日	災害が”ころ”にもたらすもの－心理的な変化の基礎知識－	講師： 内海千種氏	危険時におこりえる心理的な変化の基礎知識をとおして、”ころ”の防災・減災について考えた。	51
6月23日	科学捜査について	講師： 藤田義彦氏	人々の安全と安心な暮らしを守る「科学捜査」を紹介、あらゆる学問、知識、技術を駆使して、分析した。	56
7月14日	ヒッグス粒子と素粒子の世界～素粒子物理学から読み解く宇宙の姿～	講師： 伏見賢一氏	物質の質量の起源であるといわれ注目を浴びているビッグス素粒子について説明した。	56
8月4日	低炭素社会づくりに向けて－交通の視点から－	講師： 近藤光男氏	交通の視点から地球温暖化を捉え、低炭素社会づくりに向けての数々の取組について紹介した。	33
9月15日	阿波と万葉集	講師： 田中省造氏	徳島市民に親しまれている眉山の地名のもととなった万葉集の歌を深く考察した。	59

期 日	講 演	講 師	内 容 等	人 員
10月20日	天井絵遺産を通した文化学―上を向いて歩こう―	講師： 山上隆子氏	藤井寺、立江寺、太龍寺などの天井絵を紹介し、松茂町の福聚山無量院観音寺での天井絵製作で経験した、製作の面白さや苦勞についても紹介した。	68
11月10日	吉野川の橋	講師： 脇川弘氏	吉野川に架けられている 37 橋の抜水橋は時代を代表するものが多い。橋の形式の意味と歴史的背景を紹介した。	36
12月 8 日	大規模災害時の公共通信手段としてのアマチュア無線―日米の比較と無線の上手な使い方―	講師： 上野勝利氏	日本の電波法と F C C r u l e（米国電波法）の比較、業務無線局との相補関係を説明、公共通信手段としての姿を考え、通信確保に必要な知識を説明した。	32
1 月12日	地域活性化とまちづくり―エリアマネジメントの視点から―	講師： 矢部拓也氏	滋賀県長浜市、香川県高松市など中心市街活性化の成功事例をとりあげ、エリアマネジメントの視点から地域再生のための方法論を考えた。	36
2 月23日	金子みすずと西條八十	講師： 鳥羽俊明氏	金子みすずの今日的意義と、彼女の才能を評価した詩人・西條八十を、大正時代という時代背景と共に考えた。	53
3 月 9 日	祖谷平家落人伝説―伝説の研究とその方向性―	講師： 河野栄治氏	ナゾの多い祖谷の平家落人伝説について、どのような研究をすれば伝説の真実に近づくことができるか述べた。	70

2 展 示 事 業

期 間	展 示 名	展 示 内 容
2012年 3 月 6 日 ～ 4 月22日	「県立図書館の障害者サービス」	新館開館以降の県立図書館の障害者サービスの流れを展示し、現在のサービスを紹介。障害者交流プラザの紹介も、併せて行った。
4 月24日 ～ 6 月 3 日	「絵本を訪ねて旅に出よう」	動物絵本の第一人者で、現在のとくしま動物園開園時に展示パネルの絵を描かれた薮内正幸さんと世界中で愛されているピーターラビットの作者ビアトリクス・ポターを、その生涯と絵本・関連資料とともに紹介した。

期 間	展 示 名	展 示 内 容
5月2日～6月3日	「ガイナレ鳥取」を核とした 交換展示	5月20日の徳島での「ガイナレ鳥取」と「とくしまボルティス」との試合にあわせて「ガイナレ鳥取」関係資料および、鳥取県の観光パネルなどを展示紹介した。
6月5日～7月22日	「あるでないで！こんな雑誌」	書店では見かけにくい業界誌や出版社のPR誌、書庫で保存している休刊誌、復刻雑誌、タウン誌の創刊号などを展示した。
6月5日～7月22日	「とくしまの創業応援フェア」	日本政策金融公庫との共同企画展示として、創業に関する資料や創業企業の特徴など創業に役立つ情報を集めて展示した。
7月24日～9月2日	「図書委員が選ぶ、今も心に残る絵本」	県立学校29校の図書委員が、それぞれ心に残る絵本を選び、想いをこめた紹介文とともに展示した。
9月4日～10月17日	「知りたい兵庫の今むかし」	兵庫県立図書館から兵庫県の地域の歴史、事柄の紹介展示と、観光・文化・歴史・産業等を紹介したポスター、チラシ等を展示した。
10月19日～10月28日	「とくしま観光再発見」	観光政策課から借用の県内観光案内パネルほかの展示および県内各地の観光パンフレット等の配布を行い、県内の観光地を紹介した。
10月31日～12月16日	「B a n d oに咲いた花 -板東俘虜収容所が遺したもの-」	第一次世界大戦後の、板東のドイツ兵俘虜収容所の生活や足跡を、本とパネルで紹介した。鳴門市ドイツ館からも原本5点を借り受け展示した。
12月18日 ～2013年3月10日	「SFの世界」	日本SF作家クラブの活動やSFの世界と社会のできごとなどの年表やパネルを展示し、SFの各賞を受賞した作品、県出身の作家が書くSF小説、子ども向けのSF小説などを紹介した。
3月12日～4月21日	「よりたかく よりはやく」 梅田俊作原画展 (東日本大震災関連行事)	絵本作家、梅田俊作さんの絵本「よりたかく よりはやく」の原画17枚を展示。あわせて県南部総合県民局作成の津波減災県南モデルの取組パネルも展示して紹介した。

＜データで見る徳島県立図書館の現状＞

年度	H20	H21	H22	H23	H24	
開館日数(日)	286	288	287	289	288	
入館者数(人)	534,883	529,592	506,861	499,127	430,709	* 累計11,494,285人、 H17から平日火～金は 19:00まで開館
登録者数(人)	6,040	5,469	5,259	5,119	3,768	* 累計141,943人 (有効登録者数)
個人貸出冊数(冊)	927,203	887,914	834,680	817,680	684,626	
協力貸出冊数(冊)	23,921	20,113	19,942	21,326	20,081	* 市町村立図書館等 への貸出(図書館未設 置は教育委員会へ)
高等学校・支援学校図書 館協力貸出冊数(冊)		1,507 (21校)	3,291 (19校)	2,469 (22校)	2,611 (23校)	* 県立学校図書館へ の貸出(利用校数)
県外相互貸借冊数(冊) (内、貸出冊数)	538 (384)	984 (767)	1,382 (1,216)	1,505 (1,315)	1,455 (1,294)	
リクエスト件数	19,700	19,585	19,389	24,319	20,777	
レファレンス件数	14,288	16,142	10,078	10,089	11,983	
蔵書冊数(冊)	1,105,644	1,118,073	1,134,747	1,150,189	1,164,014	* 雑誌・視聴覚資料を 除く
購入図書(冊)	14,213	11,692	14,633	12,658	11,870	* 雑誌・視聴覚資料を 除く
雑誌購入種数	341	334	332	324	323	* 官報1を含む
新聞購入種数	35	34	34	37	34	
資料充実費(千円) 内、図書購入費(千円)	35,506 28,500	32,305 26,000	37,105 30,800	33,505 27,200	32,305 26,000	
人口1人あたり図書購 入費(円)	35.87	32.95	39.25	34.81	33.50	
人口1人あたり貸出数 (冊)	1.17	1.13	1.06	1.05	0.88	
人口1人あたり蔵書数 (冊)	1.39	1.42	1.45	1.47	1.50	
県人口(人)	794,508	789,146	784,725	781,348	776,177	* 県人口は、「徳島県 推計人口」当該年度4 月1日時点の推定人口

徳島県内市町村立図書館一覧

(横断検索可能館)

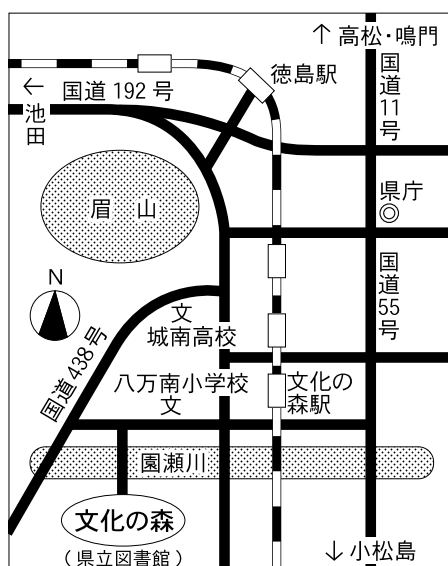


	図 書 館 名	住 所	電話番号 FAX番号	開館時間	休館日 (年末年始・特別整理期間以外)
1	徳島市立図書館	〒770-0834 徳島市元町1-24 アミコビル5F6F	088-654-4421 088-654-4423	9:00～21:00	第1火曜
2	鳴門市立図書館	〒772-0011 鳴門市撫養町大桑島字蛭子山49	088-685-0255 088-686-6589	9:00～18:30 土・日 9:00～17:30	月曜・祝日・月末
3	生涯学習センター 小松島市立図書館	〒773-0001 小松島市小松島町字新港29-11	0885-32-1100 0885-32-7188	10:00～18:00	月曜・月末 祝日(5/5, 11/3除く)
4	阿南市立 阿南図書館	〒774-0011 阿南市領家町本荘ケ内121	0884-23-2020 0884-23-6814	9:00～18:00 土・日 9:00～17:00	月曜・祝日・月末
5	那賀川図書館	〒779-1235 阿南市那賀川町苅屋308-1	0884-42-3111 0884-42-3299	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
6	羽ノ浦図書館	〒779-1101 阿南市羽ノ浦町中庄上ナカレ16-3	0884-44-2100 0884-44-2099	10:00～18:00	月曜・祝日の翌火曜 月末(土日月の時金曜)
7	吉野川市立 山川図書館	〒779-3404 吉野川市山川町北島19-7	0883-42-5222 0883-26-4101	10:00～18:00	月曜・祝日・月末 (土・日・祝除く)
8	川島図書館	〒779-3303 吉野川市川島町桑村883-1	0883-25-3141 0883-25-5382	10:00～18:00	水曜・祝日 月末
9	阿波市立 阿波図書館	〒771-1703 阿波市阿波町東原167-1	0883-35-5101 0883-35-5109	9:00～19:00 9:00～18:00(10～3月)	月曜・月末
10	市場図書館	〒771-1602 阿波市市場町上野段212-2	0883-36-6455 0883-36-6456	9:00～19:00 9:00～18:00(10～3月)	月曜・月末
11	土成図書館	〒771-1506 阿波市土成町土成字漆畑220	088-695-5385 088-695-5515	9:00～19:00 9:00～18:00(10～3月)	月曜・月末
12	吉野笠井図書館	〒771-1402 阿波市吉野町西条字大内13	088-696-4686 088-696-5139	9:00～19:00 9:00～18:00(10～3月)	月曜・月末
13	美馬市立 脇町図書館	〒779-3610 美馬市脇町大字脇町154-1	0883-53-9666 0883-53-6190	9:00～19:00	火曜 第3木曜
14	穴吹図書館	〒777-0005 美馬市穴吹町穴吹字九反地5	0883-52-1100 0883-52-2221	9:00～17:00	火曜・祝日 第3木曜
15	三好市立 中央図書館	〒778-0002 三好市池田町マチ2183番地	0883-72-2781 0883-76-0514	10:00～19:00	水曜
16	井川図書館	〒779-4802 三好市井川町岡野前64	0883-78-4311 0883-78-4305	9:00～19:00	火曜
17	勝浦町図書館	〒771-4305 勝浦郡勝浦町大字久国字久保田2-1	08854-2-2300 08854-2-4900	9:30～18:00	月曜・月末
18	佐那河内村立図書館	〒771-4101 名東郡佐那河内村下字中辺71-1	088-679-2817 088-679-2173	8:30～17:00	土曜・日曜・祝日
19	那賀町木頭図書館	〒771-6403 那賀郡那賀町木頭和無田字マツギ40	0884-68-2226 0884-68-2566	9:30～18:00	日曜・祝日
20	美波町日和佐図書 ・資料館	〒779-2305 海部郡美波町奥河内字弁才天5-1	0884-77-2733 0884-77-0845	10:00～18:00 土・日 10:00～17:00	月曜・祝日
21	牟岐町立図書館	〒775-0004 海部郡牟岐町大字川長字新光寺82	0884-72-2300 0884-72-3301	10:00～18:00	月曜・第3木曜 祝日
22	海陽町立 海南図書館	〒775-0202 海部郡海陽町四方原字旭町38-1	0884-73-3591 0884-73-3551	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
23	穴喰図書館	〒775-0501 海部郡海陽町穴喰浦字穴喰375	0884-76-1030 0884-76-1040	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
24	松茂町立図書館	〒771-0220 板野郡松茂町広島字四番越6-1	088-699-8722 088-699-8784	10:00～18:00	月曜・月末
25	北島町立図書館	〒771-0207 板野郡北島町新喜来字南古田91	088-698-1100 088-698-1180	10:00～18:00	月曜・第3木曜 祝日(土日の時は開館)
26	藍住町立図書館	〒771-1202 板野郡藍住町奥野字猪熊175-2	088-692-0070 088-692-0170	10:00～18:00	月曜・祝日 第3木曜
27	板野町文化の館 図書館	〒779-0108 板野郡板野町犬伏字東谷13-1	088-672-5888 088-672-5999	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
28	東みよし町立図書館	〒779-4702 三好郡東みよし町西庄字横手51	0883-82-1150 同上	10:00～18:00(4-9月) 10:00～17:30(10-3月)	月曜・火曜 祝日・月末(土・日除く)

注) 美馬市立穴吹図書館はH25年8月で閉館

徳島県立図書館案内図

- J R 徳島駅から／徳島市営バス・徳島バス利用（約 25 分）
- J R 牟岐線文化の森駅から／徒歩（約 35 分）



開館時間

- ・ 火曜日から金曜日まで 午前9時30分から午後7時まで
- ・ 土曜日、日曜日及び祝日（振替休日を含む。） 午前9時30分から午後5時まで

休館日

- ・ 月曜日
ただし、国民の祝日（振替休日含む）のときは、その後最も近い休日でない日
- ・ 毎月第3木曜日（国民の祝日にあたるときは、その翌日）
- ・ 年末年始
- ・ 特別整理期間（年間10日間以内、例年1月下旬から2月上旬まで）
- ・ 臨時休館日

徳島県立図書館サービス向上目標（第2期）

～県立図書館サービスの次の展開に向けて～

平成24年3月

徳島県立図書館は、平成19年3月の「徳島県立図書館サービス向上目標～地域の情報拠点を目指して～」において、社会の変化と県民の要請に応える役に立つ図書館を目指した5年間のサービス目標を設定し、業務をすすめてまいりました。

この5年間の活動を踏まえた上で、この度、新たな5年後に向けて、県立図書館が目指すべき目標の再検討を行いました。

厳しさを増した社会的経済的状況のなか、地域社会と県民の要請にこたえる図書館サービスをすすめるため、県立図書館は改めて「県の中核図書館」という役割・機能の再確認を行い、県立図書館として果たすべき役割・機能を重視したサービスを展開します。

県立図書館の役割

徳島県の図書館ネットワークの中核として、広域的かつ総合的な視点で、県民のさまざまなニーズや課題に的確に対応し、県全体の図書館サービスの向上を図ります。

県立図書館の目標

県内全域
サービス

専門性を
発揮した
サービス

地域資料の
拠点

県民の
課題解決の
支援

1 県内全域サービス

県立図書館は、市町村立図書館への支援を第一に、各種図書館を含めた図書館網の整備、県外図書館との連携の中心拠点、子どもの読書活動の推進など、徳島県内全域を視野に入れた広域サービスをすすめます。

（１）とくしまネットワーク図書館

蔵書横断検索参加館を拡充し、県民がいつでもどこでも同等の図書館サービスを利用できることを目指した「とくしまネットワーク図書館システム」による県内図書館網の整備充実を図ります。

（２）市町村支援

- ① 市町村立図書館、図書館未設置町への協力車の毎週運行により、県内図書館間の協力貸出、相互貸借を支援します。
- ② 市町村立図書館では解決できないレファレンスへの支援をすすめます。
- ③ 図書館の紹介やイベント情報を県立図書館のホームページ上に集約し、県内図書館情報を発信します。
- ④ 「とくしまネットワーク図書館システム」を使った県内図書館職員への情報提供を充実させます。

* レファレンス＝利用者の質問に対して、情報や情報源を提供すること。

（３）子どもの読書支援

- ① テーマに応じたリストの作成や子どもの本に関するレファレンス事例の公開など子どもの本に関するレファレンスを充実させます。
- ② 子どもの本の資料センター的機能を目指します。
- ③ 調べ学習用図書の実質や、県立学校への協力貸出、協力レファレンスなど学校図書館を支援します。

（４）大学図書館、県外図書館との連携拠点

- ① 県の中核図書館として、館種を超えた図書館ネットワークを推進します。
- ② 国立国会図書館をはじめとする、県外図書館とのネットワークの拠点となります。

２ 専門性を発揮したサービス

県立図書館は、県民が日常的に利用する市町村立図書館との役割分担を意識し、専門性を発揮したサービスを展開していきます。

（１）専門的収集

県全体で資料を効率的に収集、活用するため、市町村立図書館では収集しない、専門性・学術性に重点をおいた資料収集を行い、将来の利用を見据えた蔵書構築を図ります。

（２）レファレンスサービスの充実

資料と検索技術に精通した司書の専門性を活かし、ニーズに迅速かつ的確に対応するレファレンスサービスの充実を図ります。

（３）情報検索ツールの充実

時宜に応じたパスファインダーの作成など、県民が自ら資料・情報にアクセスすることをサポートします。

＊ パスファインダー＝特定のテーマに関する文献、情報の探し方、調べ方の案内リーフレット

（４）情報化への対応

レファレンス協同データベースへの事例データの登録、さまざまなデータベースやホームページを横断的に調べられる「調べ物ナビ」の充実など、情報サービスの充実と利用の促進を図ります。

＊ レファレンス協同データベース＝国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している調べ物のためのデータベース

（５）職員研修

県内図書館職員のスキルアップのための研修会を開催するとともに、県内図書館関係者の求めに応じ職員を講師として派遣するなど、県図書館界のレベルアップに努めます。

3 地域資料の拠点

県立図書館は、徳島に関する幅広い資料の充実に努めることはもちろん、所蔵資料のデジタル化による利便性の向上や、県の資料保存センターとしての機能充実に努めます。

(1) 地域資料収集

- ① 徳島に関する資料、県出身者に関する資料、地域行政資料などの網羅的収集に努めます。
- ② Web情報のみで公開される逐次刊行物を、プリントアウトやアクセス確保等により、収集・保存します。

(2) 地域資料のデジタル化

資料を次世代へ継承するために、当館が所蔵する古記録、新聞のデジタル化を行います。また、可能なものはWeb上で公開することで、地方史研究などのための利用環境を整え、本県のPRにも努めます。

(3) 郷土レファレンスの充実

調査相談の事例をはじめ、郷土に関するさまざまな事項や人物のデータベースをWeb上に公開し、調査研究活動を支援します。

(4) 資料保存センター機能

県内市町村立図書館からの移管資料受け入れなど、資料保存センターとしての機能を充実させます。

4 県民の課題解決の支援

県立図書館は、利用者からの求めに応じての資料提供だけでなく、県民の潜在的なニーズに応えられる能動的な取り組みを充実させます。

(1) 子育て支援

子育て中の保護者のための、子育てに役立つ図書・雑誌、子育て支援機関情報など、子育てに関する資料を集めた「子育て支援図書コーナー」の充実に努め、子育て世代を応援します。

(2) 行政支援

県の重要施策を図書館において広報する県政情報テラス事業や、議会図書室・行政機関職員からの調査相談にこたえる行政レファレンスなどの行政支援に努めます。

（３）健康医療情報提供

県民に関心の高い糖尿病の図書など、健康や医療に関する資料・情報を提供します。また、健康相談コーナー等、関連機関と連携した事業をすすめます。

（４）就職・仕事支援

進路検討に役立つ資料、県内企業・産業の紹介、就職関連セミナー案内など、若者の就業活動を支援する「しごと応援コーナー」の資料・情報を充実させます。

（５）テーマ展示

県民に関心の高いテーマ、タイムリーなテーマに即した資料展示による情報発信を行います。

徳島県立図書館数値目標

図書館法に基づいた図書館評価を行うため、以下の項目を数値目標として掲げ、評価を行います。

		平成23年度実績	平成27年度目標	
1	レファレンス件数	10, 089 件 483 件 97 件	15, 000 件 500 件 160 件	
2	レファレンス事例公開件数	500 件	700 件	
3	パスファインダー事例公開件数	0 件	50 件	
4	資料デジタル化件数	150 件	2,500 件	*Web公開件数 年報1 紀要1
5	県立図書館ホームページアクセス数	200,895 件	205,000 件	
6	県内横断検索参加数	71 % (20館/28館)	100 % (28館/28館)	
7	県内公共図書館個人貸出冊数	3,804,522 冊	4,200,000 冊	

* 図書館法 第7条の3

(運営の状況に関する評価等)

図書館は、該当図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

徳島県立図書館 年 報 平成 2 5 年度版

発行日 平成 2 5 年 6 月 1 日

発行人 〒 770-8070
徳島市八万町向寺山
文化の森総合公園
徳島県立図書館
館長 吉成 学
TEL (088) 668-3500 (代)
FAX (088) 668-6904
